Canon
キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通電話番号）

0570-01-9000（商品該当番号:71）

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
(1月1日〜1月3日を除く)

お電話がつながりましたら、音声ガイダンスに沿って商品該当番号 71 または「デジタルカメラ」とお話しください。

全国64ヶ所の最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
自動車電話・PHSをご利用の方、海外からご利用の方は、043-211-9556をご利用ください。

※ 電話の回線状態によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口におつなぎいたします。
※ 音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売(株)販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

修理サービスご相談窓口

付属の「修理サービスご相談窓口」（別紙）でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社	http://canon.jp/bebit/
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/dc/
キヤノン販売株式会社 サポート	http://canon.jp/support/
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

CDI-J111-010 XX03XXX

Canon キヤノンデジタルカメラ IXY DIGITAL 500/450 カメラユーザーガイド

Canon

キヤノンデジタルカメラ
IXY DIGITAL 500
IXY DIGITAL 450

DiGiC

写真は IXY DIGITAL 500 です

Exif Print

カメラユーザーガイド

最初にp.7の「ご使用の前に」をお読みください。
ソフトウェアクイックガイドやダイレクトプリントユーザーガイドもお読みください。

このカメラでできること

撮影	・シャッターを押すだけで簡単に撮影できます。 ・静止画のほか、音声付きの動画も撮影できます。 ・露出補正、ホワイトバランス、色効果なども用途に合わせて変更できます。 ・SIセンサーを搭載しており、撮影した画像の縦横位置も自動的に判別します。
再生	・撮影した画像をその場ですぐに確認でき、必要なければすぐに削除できます。 ・動画を音声付きで再生できます。 ・スライドショー機能で画像を自動的に再生できます。
編集	・撮影した画像に、音声メモを記録できます。 ・記録した動画を編集できます。
印刷(プリント)	・カメラダイレクト対応プリンター（別売）に接続し、パソコンを使わずにイージーダイレクトボタンを押すだけで、高画質なプリントを得られます。 ・撮影した画像は、従来の写真と同様に、プリント取り扱い店でデジタルプリントできます。また、インターネットを通じてオンラインプリントもできます。 ・このカメラは、標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ)」に対応していますので、キヤノン製以外のプリンター（PictBridge 対応）も接続でき、カメラからの簡単な操作でプリントができます。
撮影した画像の活用	・パソコンに画像を取り込んで、編集できます。 ・Windowsをお使いの場合は、パソコンに接続し、イージーダイレクトボタンを押すだけで簡単に画像を取り込めます。 ・撮影した画像や音声は、カメラの起動画面や起動音、シャッター音として設定できます。 ・インターネットを通じて、撮影した画像をアップロードして、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムを友人やご家族にも公開できます。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

Li-ion リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

ガイドの使いかた

以下のガイドもご覧ください。

システムマップ
・付属品・別売品の紹介
・周辺機器との接続

クイックスタートガイド
・カメラの基本的な操作方法とボタンの説明
・ソフトウェアの基本的な操作方法

カメラユーザーガイド（本書）
・準備、撮影、再生、消去の操作方法
・パソコンとの接続方法

ダイレクトプリントユーザーガイド
・プリンターとの接続方法とプリント方法

ソフトウェアクイックガイド
・付属の CD-ROM に収められている各ソフトウェアの主な機能
・パソコンに必要なシステム構成
・ソフトウェアのインストール方法
・カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法

＊「Windows®XP、Mac OS Xをお使いの方へ」もお読みください。

ZoomBrowser EX ソフトウェアガイド（Windows）/ ImageBrowser ソフトウェアガイド（Macintosh）
・ZoomBrowser EX（Windows）の詳細な使いかた
・ImageBrowser（Macintosh）の詳細な使いかた

修理サービスご相談窓口
修理に関するお問い合わせ先

プリンターユーザーガイド（CPシリーズプリンターに付属）
・プリンターとカメラの接続方法
・ペーパーやインクカセットの入れかた
・プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意

カードフォトプリンター CP-300/CP-200プリンタードライバユーザーガイド（CPシリーズプリンターに付属）
・プリンタードライバのインストール方法
・プリンターとパソコンの接続方法
・プリント方法

（灰色）:カメラに付属　（白枠）:別売の商品に付属

このガイドの表記について

見出しの横にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。下の例では、撮影モードが（オート）、M（マニュアル）、（スティッチアシスト）または（動画）のときに操作できます。

セルフタイマーで撮る

:カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

:カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

こんなときには

撮影モードごとに設定できる機能がよくわからない 電源を切ると、設定の変更が保持されるのかわからない	● 各撮影モードで設定できる機能一覧（p.160）
利用できる機能にどんなものがあるかわからない	● FUNC.（ファンクション）メニュー（p.40） ●撮影メニュー（p.44） ●再生メニュー（p.45） ●設定メニュー（p.45） ●マイカメラメニュー（p.48）
カメラユーザーガイドに記載されているアイコンの意味がわからない	● 液晶モニターに表示される情報（p.32） ● メニューの設定項目と初期設定（p.44）

本書の構成

☆では、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

再生

消去

プリント指定

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやCFカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがあります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、バッテリーチャージャーおよび別売のコンパクトパワーアダプターやカーバッテリーチャージャーを指します。

⚠警告	この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
⚠注意	この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたい事項を示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警　告

- **カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**
  視力障害の原因となります。

- **ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。**
  目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

- **本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。**
  お子様が誤って本機器やバッテリーを破損すると危険です。また、誤ってリストストラップ を首に巻き付けると、窒息することがあります。

- **本機器を分解、改造しないでください。**
  高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

- **落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**
  さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**
  火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず、バッテリーを外すか、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**
  そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。**
  本機器には防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。**
  火災の原因となります。

- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。**
  ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気をすって絶縁不良となり、火災の原因になります。

- **電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。**
  漏電して、火災、感電の原因になります。

- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  感電の原因になります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

- **本機器専用以外の電源は使用しないでください。**
  発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

- **バッテリーを火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。**
  また、水や海水に濡らしたりしないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがの原因になります。

- **バッテリーを分解、改造したり、加熱しないでください。**
  破裂により、けがの原因となります。万一、バッテリーの電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。

- **バッテリーを落とすなどして強い衝撃を与えないでください。**
  外装が破損した場合、バッテリーの液漏れにより、けがの原因になります。

- **キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触(ショート)させないでください。**
  発熱し、やけど、けがの原因となります。持ち運びや保存の際は、必ず端子カバーを取り付けてください。

- **バッテリーを廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。**
  廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

- **指定されたバッテリーを使用してください。**
  それ以外のものを使用すると、バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

- **バッテリーパック NB-1LH、NB-1L を充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャーを使用してください。**
  それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。**
  長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。**
  他のバッテリーや製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

磁気について

カメラのスピーカー(p.14)に磁気の影響を受けやすいもの(クレジットカードなど)を近づけないでください。それらのデータがこわれて、使用できなくなることがあります。

⚠ 注　意

・**直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。**
バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。

・**湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。**
火災、感電、故障の原因になることがあります。

・**カメラをリストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。**
けがや本体の故障の原因となることがあります。

・**ストロボの発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。**
煙や音が出て、故障の原因になることがあります。また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になることがあります。

・**ストロボ発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。**
発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因になることがあります。

・**バッテリーチャージャーは、必ず指定された電源コンセントを使用し、定格を超えて使用しないでください。**
地域によって、電源プラグ部分が異なります。本書の「付録」をご覧ください。

・**バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。**

・**電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。**

故障を防ぐためのご注意

■ 電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

■ 結露を防ぐために

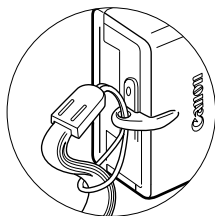
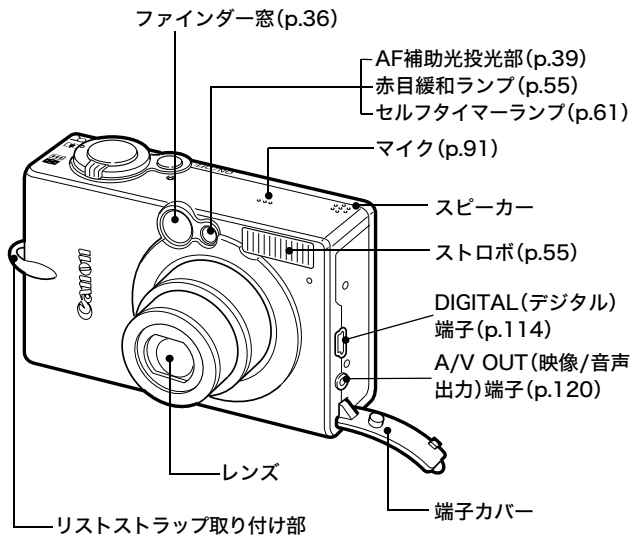
カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。
カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■ 結露が発生したときは

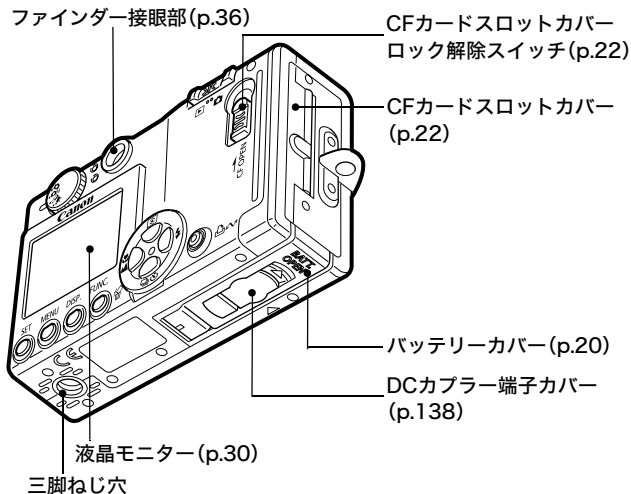
故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。CFカード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。

■ カメラを使用しないときは

バッテリーをカメラから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。
ただし、バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻やカメラの設定が解除される場合があります。

前面

リストストラップの
取り付けかた*

*リストストラップを下げているときは、カメラを振り回すような持ちかたを避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

背面

*カメラにパソコン、またはプリンターを接続するときに使用するケーブルは、以下のとおりです。

パソコン(p.114)

インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)

カメラダイレクト対応プリンター(別売)

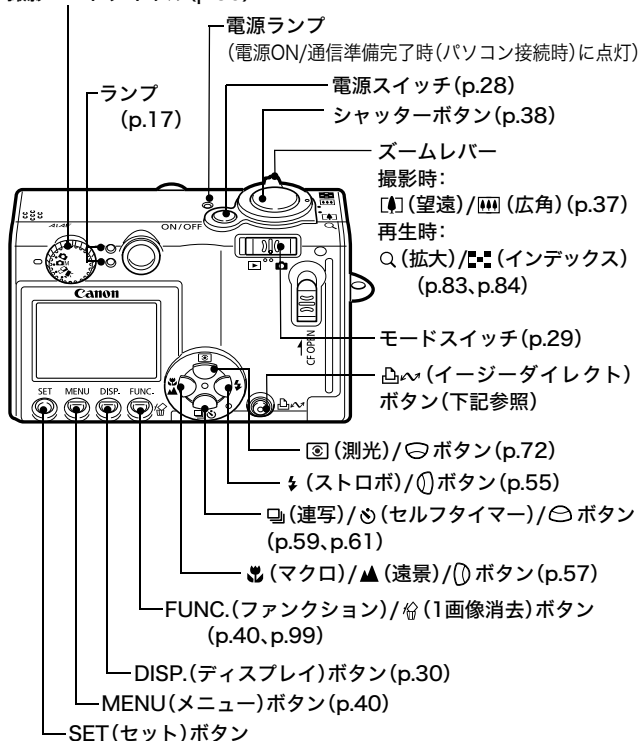
●CP プリンター:インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)、またはダイレクトインターフェースケーブル DIF-100(CP-100/CP-10に付属)

●バブルジェットプリンタ

- Bubble Jet ダイレクト対応プリンタ:
  バブルジェットプリンタの使用説明書でご確認ください。
- PictBridge対応プリンタ:
  インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)

●キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター:
インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)

このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターについてはシステムマップ、またはダイレクトプリントユーザーガイドでご確認ください。

操作部

(イージーダイレクト)ボタンを押すと、以下の操作が簡単にできます。

- プリント:ダイレクトプリントユーザーガイド(別冊)
- パソコンへの画像の取り込み(Windowsのみ):p.112、ソフトウェアクイックガイド(別冊)

プリンター、パソコン接続時は、ランプが点灯、点滅します。

青点灯:プリンター準備完了/画像転送準備完了

青点滅:プリント中/画像転送中

ランプ

電源スイッチまたはシャッターボタンを押したとき、ランプが点灯、点滅します。

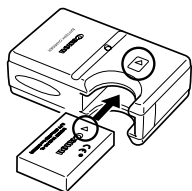
●上側のランプ

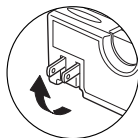
緑点灯:撮影準備完了
緑点滅:CFカードへ記録中/CFカードからの読み出し中/CFカードからの消去中/データ転送中(パソコン接続時)
橙点灯:撮影準備完了(ストロボ発光)
橙点滅:撮影準備完了(手ブレ警告)

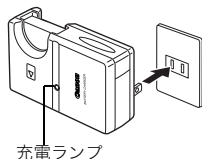
●下側のランプ

黄点灯:マクロ撮影/遠景撮影/AFロック撮影
黄点滅:ピントが合いにくいとき(電子音が1回鳴ります)。黄点滅したときでもシャッターは押せますが、フォーカスロック、またはAFロックで撮影することをおすすめします(p.67)。

バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときや、「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されたときは、次の方法でバッテリーを充電してください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに差し込む

- バッテリーとバッテリーチャージャーの矢印の方向を合わせて、奥までしっかりと押し込んでください。

2 バッテリーチャージャーの電源プラグを引き出し、コンセントに差し込む

- 充電中は充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
- 充電終了後、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り出します。

バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。

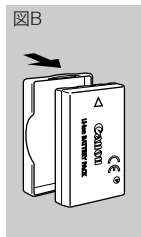
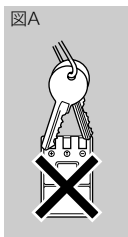
- このバッテリーは、リチウムイオン電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できますが、規定充電回数(寿命)は約300回ですので、なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。
- 完全に放電した状態からフル充電になるまでの時間は、約130分です(当社測定基準による)。5〜40℃の範囲で充電することをおすすめします。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが故障ではありません。
- バッテリー性能(p.146)
- 海外で使うとき(p.140)

取り扱いについて

- バッテリーの㊉㊀㊁の端子は、常にきれいにしておいてください。汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、ティッシュペーパーなどで乾拭きしてください。
- バッテリーチャージャーに、バッテリーを装着した状態で、急激に逆さにしたり、強く振ったりしないでください。バッテリーが飛び出して危険です。
- 低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。ただし、このとき、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートするおそれがあります。
- テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- バッテリーパック NB-1LH、NB-1L 以外のバッテリーは充電しないでください。
- バッテリーをカメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、お使いにならなくても微少の電流が流れて過放電になり、寿命短縮の原因になります。

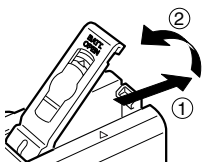
- キーホルダーなどの金属でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触させると(図A)、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。バッテリーを持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください(図B)。

図A

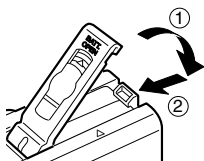
図B

- 充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。使用する当日または前日にフル充電することをおすすめします。
- フル充電の状態で長期間(1年くらい)保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがありますので、カメラでバッテリーを使い切ってから常温(23℃)以下の涼しいところで保管することをおすすめします。また長期間使用しないときは、1年に1回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 規定の充電をしたにも関わらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを入れる

付属のバッテリーパック NB-1LHを入れます。バッテリーパックNB-1Lも使用できます。

はじめてお使いになるときはバッテリーを充電してください(p.18)。

1 バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせて開く

2 **バッテリーロックを矢印の方向に押しながらバッテリーがロックされるまで押し込む**

- バッテリーとカメラ底面の矢印を合わせ、正しく入れてください。
- バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックを押して取り出します。

3 **バッテリーカバーを倒して元の位置に戻す**

- ファインダー接眼部横の上側のランプが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、カメラの電源を切ったり、バッテリーカバーを開けないでください。
- カメラを使用しないときは、バッテリーを取り出しておいてください。ただし、バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、日付/時刻やカメラの設定がリセットされる場合があります。

長時間お使いになるときは、ACアダプターキット ACK500(別売)をご使用ください(p.138)。

バッテリー残量について

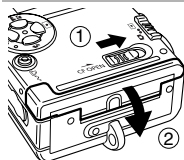
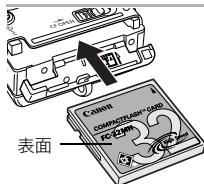
バッテリー残量が低下すると、以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

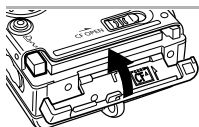
	バッテリー残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに充電してください。 液晶モニターが消えているときは、電源スイッチ、SETボタン、MENUボタン以外のボタンを押すと、このアイコンは表示されます。
バッテリーを交換してください	バッテリーの残量が少なく、動作不能です。直ちにバッテリーを交換してください。

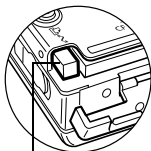
バッテリー性能(p.146)

・この製品には、充電式のリチウムイオン電池を使用しています。
・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・リチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
　キヤノンサポートページ　canon.jp/support
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
　- 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
　- (社)電池工業会 小形二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*
　　*(社)電池工業会 電話番号 03-3434-0261

CFカードを入れる

カメラの電源を切って、次のように入れます。

1 ロック解除スイッチを矢印の方向へスライドし、CFカードスロットカバーを開く

2 CFカードの表面を上にし、CFカード取り出しボタンが飛び出すまでしっかりと差し込む

CFカードスロットカバー裏面の図に合わせて、しっかりと差し込んでください。

3 CFカードスロットカバーを閉じる

CFカードを取り出すには

CFカード取り出しボタンを押して取り出します。

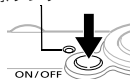
- ファインダー接眼部横の上側のランプが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データが壊れることがあります。
  - カメラ本体に振動や、衝撃を与える
  - カメラの電源を切ったり、バッテリーカバーやCFカードスロットカバーを開ける
- 他社のカメラや、パソコン、アプリケーションソフトウェアでフォーマットまたは編集したCFカードを使用すると、CFカードへの書き込み速度が遅くなったり、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。
- このカメラで初期化したCFカードをお使いになることをおすすめします(p.100)。付属のCFカードは、そのままお使いになれます。

CFカードの種類と記録可能画像数の目安(p.147)

取り扱いについて

- CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- CFカードを分解したり、改造しないでください。
- 温度差の大きな場所へ急に移動すると、CFカードに水滴が付き（結露）、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度に十分慣らしてから出してお使いください。
- 結露したときは、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- CFカードは、下記の場所で使用したり、保管しないでください。
  - ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - 高温多湿の場所

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、または内蔵の充電型リチウムイオン電池の容量がなくなったときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。手順5から操作してください。

1 電源ランプが点灯するまで、電源スイッチを押す

2 MENUボタンを押す

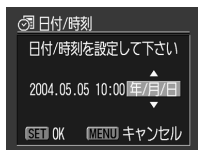
[（撮影）]メニューまたは[（再生）]メニューが表示されます。

3 ボタンで[（設定）]メニューを選ぶ

4 ◯◯ボタンで ◯ を選んで、SET ボタンを押す

SET

5 日付と時刻を設定する

- ◯◯ボタンで設定項目(年、月、日、時、分、日付スタイル)を選びます。
- ◯◯ボタンで設定内容を変更します。

SET

6 SETボタンを押す

設定内容が確定します。

MENU

7 MENUボタンを押す

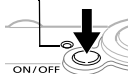
撮影または再生画面に戻ります。

- バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻がリセットされる場合があります。再度、設定し直してください。
- 日付 / 時刻を設定しても、画像自体に日付 / 時刻を入れることはできません。日付を入れてプリントしたいときは、別冊のダイレクトプリントユーザーガイドやソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

日付/時刻用のバッテリーの充電について

- カメラには、日付/時刻などの設定を保持するための充電型リチウムイオン電池が内蔵されており、バッテリーを入れたときに充電されます。ご購入時に4時間程度、カメラにバッテリーを入れておくか、またはACアダプターキット ACK500(別売)を使用して充電してください。カメラの電源が入っていなくても充電できます。
- 電源を入れたときに、日付/時刻設定画面が表示された場合は、内蔵の充電型リチウムイオン電池の容量がなくなっています。上記の方法で充電してください。

言語を設定する

液晶モニターのメニューやメッセージの表示言語を設定します。

1 電源ランプが点灯するまで、電源スイッチを押す

2 MENUボタンを押す

[(撮影)]メニューまたは[(再生)]メニューが表示されます。

3 ボタンで[(設定)]メニューを選ぶ

4 ボタンで を選んで、SETボタンを押す

5 またはボタンで言語を選び、SETボタンを押す

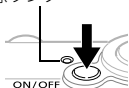
6 MENUボタンを押す

撮影または再生画面に戻ります。

カメラが再生モードのときは、SETボタンを押しながらMENUボタンを押すと、言語設定画面をすぐに表示できます（ただし、動画再生時または別売のプリンター接続時は設定できません）。

電源を入れる

電源ランプ

ON/OFF

1 電源ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す

・モードスイッチが のときは、レンズが出ます。

・モードスイッチを から に切り換え、約1分経過すると、レンズは収納されます。

・モードスイッチが のときは、ファインダー接眼部横の上側のランプが緑色に点滅し、液晶モニターがつきます。

電源を切るには

再度電源スイッチを押します。

- はじめて電源を入れたとき、または内蔵の充電型リチウムイオン電池の容量がなくなったときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。日付/時刻を設定してください(p.24)。
- 節電機能が働いて電源が切れたときは、電源スイッチを押すと電源が再び入ります。
- 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます(起動音、起動画面を変更する p.46、p.48、p.122)。
- 撮影モード時に液晶モニターが非表示になっているときや、カメラのA/V OUT端子をテレビに接続しているときは、起動画面は表示されません。

起動画面と起動音を消して電源を入れるには

SETボタンを押しながら電源を入れます。

節電機能について

このカメラには、節電機能が付いています。
節電機能を[入]にしておくと、次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

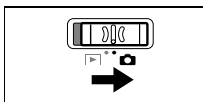
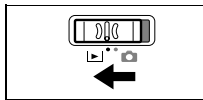
撮影時：約3分間、何も操作しないとき
節電機能が[切]でも、液晶モニターを表示して約1分間*何も操作しないと液晶モニターは消えます。
(電源スイッチ以外のボタンを押すとつきます。)
*時間を変更できます(p.46)。

再生時：約5分間、何も操作しないとき

プリンター(別売)接続時：
約5分間、カメラとプリンターの操作を何もしないとき

- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能が働かないよう設定を変更できます(p.46)。

撮影/再生を切り換える

モードスイッチは、撮影や再生の機能を選ぶときに使います。

撮影するとき(撮影モード)
モードスイッチを📷にスライドします。

再生するとき(再生モード)
モードスイッチを▶にスライドします。
・プリンター(別売)と接続したときは、撮影した画像をプリントできます(ダイレクトプリントユーザーガイド参照)。
・パソコンと接続したときは、パソコンに撮影した画像を表示したり、取り込んだりできます(p.113)。

- プリンター(別売)への接続が完了すると、液晶モニターに 、 、 のいずれかが表示されます。

液晶モニターの使いかた

画像を確認しながら撮影するときや、再生、またはメニュー操作をするときに液晶モニターを使います。
液晶モニターには、カメラの状態や設定内容を表すマークが表示されます。

太陽や強い光が当たると、液晶モニターの表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。

撮影モードのとき（ ）

1 **DISP.ボタンを押す**

DISP.ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→液晶モニター表示（情報表示なし）

↓

液晶モニター表示（情報表示あり）

↓

液晶モニター非表示

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、カメラの電源を切っても記憶され、次回電源を入れたときに直前の状態で使用できます。ただし、液晶モニターをつけて撮影しているとき、「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示された場合は、次回電源を入れたときに、液晶モニターがつかないことがあります。
- 、にしたときは、設定に関わらず液晶モニターがつきます。

再生モードのとき（▶）

モードスイッチを▶にすると、液晶モニターがつきます。

DISP. ボタンを押す

DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→ 簡易表示

↓

詳細表示

↓

情報表示なし

インデックス再生時（p.84）は、詳細表示に切り換わりません。

液晶モニターに表示される情報

撮影や再生したとき、液晶モニターには撮影情報や再生情報が表示されます。

撮影モードのとき

ストロボ、連続撮影、セルフタイマー、マクロ、遠景、測光方式の設定時には、液晶モニター表示(情報表示なし)や液晶モニター非表示でも、液晶モニターに約6秒間撮影情報が表示されます(その時のカメラの設定内容によって表示されないこともあります)。

撮影準備完了時に、ファインダー接眼部横の上側のランプが橙色に点滅し、液晶モニターに手ブレ警告アイコン( )が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。ストロボを または にするか、三脚などでカメラを固定して撮影してください。

- シャッターボタンを押して撮影を終了したとき、約2秒間(確認時間(2～10秒)を変更した場合は、その秒数)撮影した画像を表示します。画像表示中に SET ボタンを押すと、表示し続けます(p.51)。
- 撮影した画像が液晶モニターに表示されているとき、画像の明るさを判断するためのグラフ(「ヒストグラム」(p.35))やその他の情報が表示され、画像の明るさを確認できます。必要であれば、露出を補正するなどして、撮り直してください(ヒストグラムが表示されないときは、DISP. ボタンを押してください)。

-2…+2
露出補正(p.72)

1"…15"
長秒時設定時間(p.73)

ホワイトバランス(p.75)

ISO 50 ISO 100 ISO 200 ISO 400
ISO感度(p.79)

色効果(p.78)

圧縮率(p.52)

L M1 M2 S
640(1) 320 160
記録画素数(p.52)
*
手ブレ警告(p.32)

*
バッテリー残量低下(p.21)

クイック撮影(p.54)

測光方式(p.72)

撮影方法(p.59、61)

マクロ/遠景モード(p.57)

ストロボ(p.55)

縦横自動回転(p.80)

撮影モード(p.50)
●(赤)*
動画撮影(p.65)

ズーム倍率(p.37)
IXY DIGITAL 500:
3.8x、4.9x、6.1x、7.6x、9.3x、12x
IXY DIGITAL 450:
4.3x、5.3x、6.7x、8.2x、11x

AEL *
AEロック(p.69)
FEL *
FEロック(p.70)

AFL *
AFロック(p.68)

[ ]*
スポット測光枠(M時)

□*
AF枠(p.71)

記録可能画像数または、
動画記録時間(秒数)

*情報表示なしのときも表示されます。
(1)IXY DIGITAL 450の場合、640 はありません。

ズーム倍率は光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率です。デジタルズーム時に表示されます。

再生モードのとき（簡易表示）

ファイル番号

画像番号

撮影日時

プロテクト情報（p.98）

WAVE形式の音声（p.91）

L M1 M2 S
記録画素数（静止画）（p.52）

AVI
動画（p.85）

圧縮率（静止画）（p.52）

再生モードのとき（詳細表示）

ヒストグラム

1"…15"
長秒時設定時間（p.73）

撮影モード（p.50）

-2…+2
露出補正（p.72）

AWB
ホワイトバランス（p.75）

色効果（p.78）

ISO 50 ISO100 ISO200 ISO400
ISO感度（p.79）

640 (1) 320 160
記録画素数（動画）（p.52）

ストロボ（p.55）

マクロ/遠景モード（p.55）

測光方式（p.72）

動画ファイルのとき
動画記録時間（p.65）

（1）IXY DIGITAL 450の場合、640 はありません。

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

♪?	WAVEファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルが付いています。
⚠	DCF（p.146）の規格と異なる構造を持つJPEGファイルです。
RAW	RAW形式のファイルです。
?	認識できない形式のファイルです。

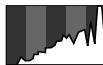
このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、あるいは他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

ヒストグラムについて

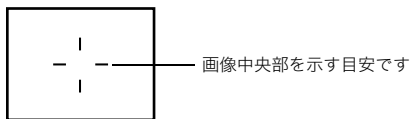
ヒストグラムは、撮影した画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します（p.72）。

ヒストグラム例

暗い画像

普通の明るさの画像

明るい画像

ファインダーを使って撮る

液晶モニターを非表示にし(p.30)、ファインダーを使って撮影すると消費電力を抑えることができます。

ファインダーで見える範囲と撮影範囲との違いについて

通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認できます。
また、ファインダーの特性上、ファインダーから見える範囲と実際に撮影される範囲にズレが生じます。特に、被写体の距離が近い場合には、ズレが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。そのため、マクロモードでは必ず液晶モニターを使って撮影してください。

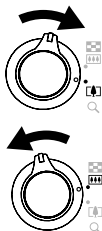
AFについて

このカメラのAF機能は、AiAF*を採用しています。
AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少はずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。
AiAFを[切]にして、中央一点でAFすることもできます(p.71)。
* Ai=Artificial intelligence:人工知能　AF=オートフォーカス

ズームを調節する

35mmフィルム換算で、36～108mmの範囲で画角を調節できます。

望遠/広角

ズームレバーを [♠] 側または [♠♠♠] 側に押す

- [♠] 側に押すと、被写体を大きく写します(望遠)。
- [♠♠♠] 側に押すと、被写体を小さく写します(広角)。

デジタルズーム

液晶モニターがついているときは、光学ズームと合わせて IXY DIGITAL 500では最大約12倍に、IXY DIGITAL 450では最大約11倍に拡大して撮影できます (p.58)。

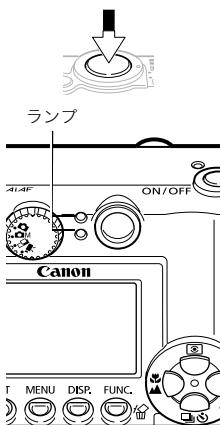
デジタルズームは、モードによって使えないことがあります (p.160)。

デジタルズームは、拡大するほど画像が粗くなります。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、半押しと全押しの２段階で動作します。

半押しー浅く押したとき

露出、フォーカスを自動設定します。

1 シャッターボタンを半押しする

●ランプの設定状態

上側のランプ

・緑点灯：撮影準備完了（電子音が２回鳴ります。）
・橙点灯：ストロボ発光
・橙点滅：手ブレ警告/露出不足

下側のランプ

・黄点灯：マクロ撮影／遠景撮影／AFロック撮影（p.68）
・黄点滅：ピントが合いにくいとき＊（電子音が1回鳴ります。）

＊黄点滅したときは、フォーカスロック、AFロックで撮影してください（p.67）。

● AF 枠の表示（液晶モニターがついているとき）

AiAFが[入]（p.71）のとき
・緑色表示：撮影準備完了（ピントの合ったAF枠）
・非表示：　ピントが合いにくいとき（電子音が1回鳴ります。）

AiAFが[切]（p.71）（中央1点AF）のとき
・緑色表示：撮影準備完了
・黄色表示：ピントが合いにくいとき（電子音が1回鳴ります。）

全押しー深く押したとき

シャッター音が1回鳴り、撮影を実行します。

1 シャッターボタンを全押しする

CFカードに記録中は、ファインダー接眼部横の上側のランプが緑色に点滅します。

ストロボ充電中は撮影できません。

AF補助光について

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたとき、ピントを合わせやすくするために、AF補助光が光ることがあります。
- AF補助光を切ることもできます(p.44)。
  例えば、暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます。
  ただし、以下のことに注意してください。
  - AF補助光を切ると、暗い場所などでピントが合いにくくなることがある
  - AF補助光を切っても、ストロボが赤目緩和オートまたはスローシンクロのときは赤目緩和ランプが光ることがある

メニューの選択と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、日付/時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って操作します。メニューを表示するには、FUNC. ボタンを押す場合とMENUボタンを押す場合があります。液晶モニターを見ながら、次のように操作してください。

FUNC. ボタンを押して設定する（撮影モード時）

1 モードスイッチを（撮影）にする

FUNC.

2 FUNC. ボタンを押す

3 ボタンでメニュー項目を選ぶ

選択できるメニュー項目は、次ページの「FUNC.メニュー」をご覧ください。

4 ボタンで設定したい内容を選ぶ

・メニュー項目によっては、SETボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度SETボタンを押して設定内容を確定します。
・このあとすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

FUNC.

5 FUNC. ボタンを押す

FUNC.メニュー

露出補正(±0)➡p.72

露出補正
-2..1..0..1..2+

長秒時設定時間(1)➡p.73

ホワイトバランス(AWB)➡p.75

ISO感度(ISO 50)➡p.79

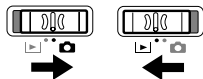
色効果(OFF)➡p.78

圧縮率( )➡p.52

記録画素数(L)➡p.52

記録画素数・動画*(320)➡p.52

( )内は初期設定を表します。
*IXY DIGITAL 450では 640 がないため、表示される画面が異なります。

MENUボタンを押して設定する

1 モードスイッチを (撮影)または (再生)にする

MENU

2 MENUボタンを押す

撮影モードのときは[(撮影)]メニューが表示され、再生モードのときは [(再生)]メニューが表示されます。

基本操作

3 **ボタンでメニューを切り換える**

・画面左上の[撮影]/[再生]、[設定]、または[マイカメラ]が選択されている状態で操作してください。
・ズームレバーを使うと、[撮影]/[再生]、[設定]、または[マイカメラ]が選択されていなくても、メニューの切り換えができます。

4 **ボタンでメニュー項目を選ぶ**

メニュー項目については、「メニューの設定項目と初期設定」(p.44)を参照してください。

5 **ボタンで設定したい内容を選ぶ**

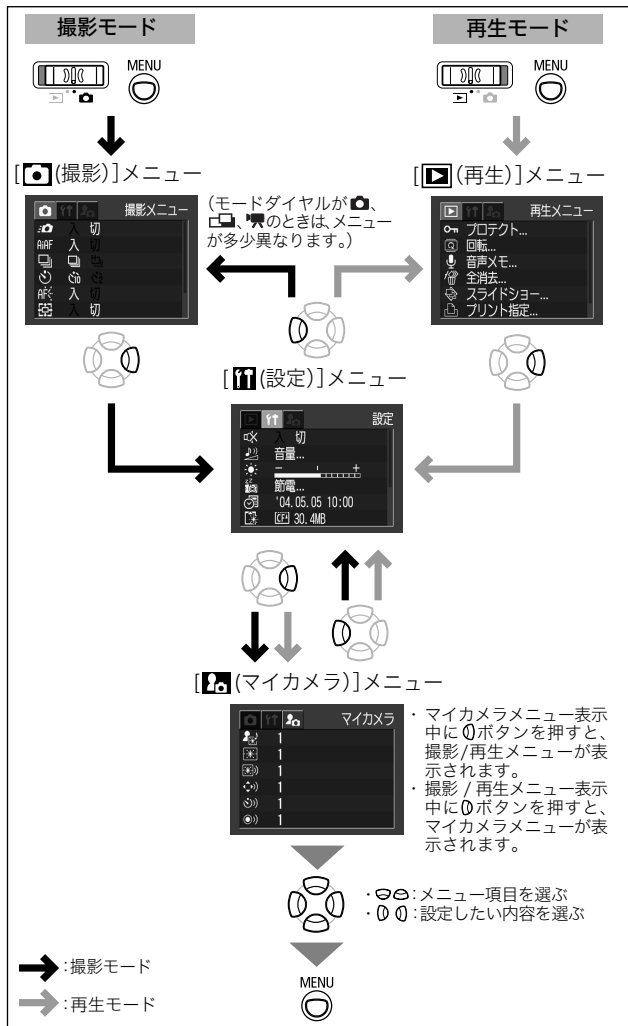
「. . . 」のある項目では、SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度SETボタンを押して設定内容を確定します。

6 **MENUボタンを押す**

MENU

撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。

再生メニューの [プリント指定]の操作については、「DPOFのプリント指定」(p.104)をご覧ください。

撮影モード
再生モード
MENU
MENU
[(撮影)]メニュー
[(再生)]メニュー
撮影メニュー
入 切
AiAF 入 切
入 切
入 切
(モードダイヤルが 、 、 のときは、メニューが多少異なります。)
再生メニュー
プロテクト...
回転...
音声メモ...
全消去...
スライドショー...
プリント指定...
[(設定)]メニュー
設定
入 切
音量...
– +
節電...
'04. 05. 05 10:00
CF 30. 4MB
[(マイカメラ)]メニュー
マイカメラ
1
1
1
1
1
1
・マイカメラメニュー表示中に ボタンを押すと、撮影/再生メニューが表示されます。
・撮影 / 再生メニュー表示中に ボタンを押すと、マイカメラメニューが表示されます。
・ :メニュー項目を選ぶ
・ :設定したい内容を選ぶ
:撮影モード
:再生モード
MENU

メニューの設定項目と初期設定

各メニューの設定項目や内容は、次のとおりです。

＊表内の＊は初期設定を表します。

撮影メニュー

項目	内容	参照先
クイック撮影	クイック撮影の入/切を設定します。 ・入 ・切＊	p.54
AiAF	AF 枠をカメラが自動的に選択して撮影するか、あらかじめ中央のAF枠に固定して撮影するかを設定します。 ・入＊ ・切	p.71
連続撮影方式	連続撮影の速さを設定します。 ・通常連続撮影＊ ・高速連続撮影	p.59
セルフタイマー	セルフタイマーの時間を設定します。 ・10秒＊ ・2秒	p.61
AF補助光	AF補助光の入／切を設定します。 ・入＊ ・切	p.39
デジタルズーム	デジタルズームの入／切を設定します。 ・入 ・切＊	p.58
撮影の確認	撮影してシャッターボタンを放したあと、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。 ・切 ・2秒＊～10秒	p.51
長秒時撮影	遅いシャッタースピードを設定します。 ・入 ・切＊	p.73

再生メニュー

項目	内容	参照先
プロテクト	画像を消去できないようにプロテクト(保護)を設定します。	p.98
回転	時計方向に90度、270度に回転して画像を表示します。	p.90
音声メモ	画像に音声を追加します。	p.91
全消去	CFカードに記録されている画像をすべて消去します。(プロテクトされている画像を除く)	p.99
スライドショー	記録した画像を自動再生します。	p.94
プリント指定	画像をカメラダイレクト対応のプリンターまたはラボプリントサービスでプリントするとき、プリントする画像の選択や枚数を指定します。	p.104
送信指定	パソコンに取り込む画像を、あらかじめカメラで指定します。	p.110

設定メニュー

項目	内容	参照先
消音	シャッターボタンを押したときや、メニュー操作をしたときに、電子音を鳴らすかどうかを設定します。 ➡「[(設定)] メニューの [消音] と [(マイカメラ)]メニューの音の各設定について」(p.48)参照 ・入 ・切* ただし、エラー時の警告音は、[入]にしても鳴ります。	–

項目	内容	参照先
音量	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。 ただし、[消音]が[入]になっていると設定できません。 切 1 2* 3 4 5	−
起動音量	カメラ起動時の音量を調節します。	p.28
操作音量	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。	−
セルフタイマー音	撮影2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。	p.61
シャッター音量	シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。	p.38
再生音量	動画再生時、または音声メモの音量を調節します。	p.85 p.91
液晶の明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。 ・−7〜0*〜+7 ボタンで明るさを調整します。ボタンを押すと設定メニューに戻ります。液晶モニター表示時は、画像の明るさを確認しながら調整できます。	−
節電	オートパワーオフ、ディスプレイオフの設定をします。	p.29
オートパワーオフ	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかの設定をします。 ・入* ・切	
ディスプレイオフ	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。 ・10秒　・20秒　・30秒 ・1分*　・2分　・3分	

項目	内容	参照先
日付／時刻	日付、時刻、日付スタイルを設定します。	p.24
カードの初期化	CFカードを初期化します。	p.100
番号リセット機能	ファイル番号の付けかたを設定します。 ・入 ・切＊	p.81
縦横自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に横に回転して表示するかどうかを設定します。 ・入＊ ・切	p.80
言語	液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。 · English · Italiano · Deutsch · Norsk · Français · Svenska · Nederlands · Español · Dansk · 汉语 · Suomi · 日本語＊ 画像の再生時に、**SET** ボタンを押しながら**MENU**ボタンを押しても、表示する言語を変更できます。	p.26
ビデオ出力方式	ビデオ出力方式を設定します。 ・NTSC＊ ・PAL	p.140

マイカメラメニュー

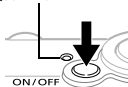
このカメラでは、セット、起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を選べます。
各項目の[2][3]には、CFカードに記録してある画像や、新たに録音した音声をマイカメラコンテンツとして登録できます。また、付属のソフトウェアを使って、パソコンにある画像や音声を、その場ですぐにカメラに登録したり、オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」から付属のソフトウェアを通じてコンテンツをダウンロードし、登録することもできます。
詳しくは、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p.122
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で2秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます。動画撮影時にはシャッター音は鳴りません。	
マイカメラメニューの設定内容	(切) / 1 */ 2 / 3	

●[(設定)]メニューの[消音]と[(マイカメラ)]メニューの音の各設定について

起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を消すときは、[消音]を[入]にします。[消音]を[入]にすると、音の各設定が[1、2、3(入)]になっていても音は鳴りません。警告音は[消音]を[入]にしていても鳴ります。

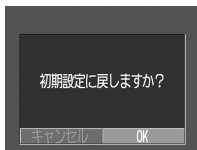
設定を初期状態に戻す

カメラの設定を初期設定に戻します。

1 電源ランプが点灯するまで、電源スイッチを押す

モードスイッチは、どの位置でも構いません。

2 MENUボタンを5秒以上押し続ける

3 ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押す

初期化を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- パソコン接続時、別売のプリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - [(設定)] メニューの[日付 / 時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]の設定(p.47)
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ(p.76)
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ(p.123)

オートで撮る

シャッターボタン以外の操作をする必要がなく、カメラまかせの撮影ができます。

1 モードスイッチを（撮影）にし、モードダイヤルをにする

2 被写体にカメラを向ける

3 ズームレバーで画角（画像内の被写体の大きさ）を決める（p.37）

4 シャッターボタンを半押しする（p.38）

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。撮影準備が完了すると、電子音が２回鳴り、ファインダー接眼部横の上側のランプが緑色または橙色に点灯します。液晶モニターがついているときは、AF枠は緑色になります。
- ピントが合いにくいときは、電子音が１回鳴り、ファインダー接眼部横の下側のランプが黄色に点滅します。

5 シャッターボタンを全押しする（p.39）

- シャッター音が1回鳴り、撮影が完了します。
- 撮影した画像が約２秒表示されます。

- このモードで変更できる設定（p.160）
- 撮影後、液晶モニターに撮影画像が表示される時間を変更したり、表示されないように設定できます（p.51）。

撮影直後に画像を確認する

撮影直後に約2秒間、撮影した画像を表示します。また、次の方法で設定時間に関わらず画像を表示し続けます。

- **シャッターボタンを全押しし続ける**
- **撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す**

シャッターボタンを半押しすると画像表示が解除され、撮影できます。

画像確認中は、次のことができます。
- 画像の詳細情報を表示する(p.34)
- 画像を消去する (p.99)
- 画像を拡大表示する (p.83)(**SET** ボタンを押して画像を表示したとき)

撮影した画像の確認時間を変更する

撮影した画像は、約2秒間液晶モニターに表示されます。この画像の確認時間を[切]または[2秒]〜[10秒]の範囲で1秒刻みに変更できます。

1
[(撮影)]メニューから を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

MENU

2 **ボタンで確認時間を選び、MENUボタンを押す**

- [切]の場合、画像は表示されません。
- [2 秒]〜[10 秒]の場合、シャッターボタンを放しても、設定した時間、画像が表示されます。
- シャッターボタンを全押しし続けている間、設定時間に関わらず画像を表示できます。

記録画素数と圧縮率を変更する

目的に応じて、記録画素数、圧縮率（動画を除く）を変更できます。

IXY DIGITAL 500

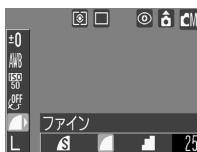
記録画素数			撮影の目安
L（ラージ）	2592×1944画素	大きい	・A4サイズ以上をプリントするとき
M1（ミドル1）	2048×1536画素	↕	・A4サイズまでをプリントするとき
M2（ミドル2）	1600×1200画素		・Lサイズ、またはA5サイズをプリントするとき
S（スモール）	640×480画素	小さい	・電子メールで画像を送るとき ・より多くの画像を撮影するとき

IXY DIGITAL 450

記録画素数			撮影の目安
L（ラージ）	2272×1704画素	大きい	・A4サイズ以上をプリントするとき
M1（ミドル1）	1600×1200画素	↕	・Lサイズ、またはA5サイズをプリントするとき
M2（ミドル2）	1024× 768画素		・クレジットカードサイズをプリントするとき
S（スモール）	640×480画素	小さい	・電子メールで画像を送るとき ・より多くの画像を撮影するとき

圧縮率			撮影の目安
	スーパーファイン	きれい	・より良い画質で撮影するとき
	ファイン	↕	・通常の撮影をするとき
	ノーマル	普通	・より多くの画像を撮影するとき

動画の場合は、次の記録画素数で撮影できます。

記録画素数	
640	640×480画素 （IXY DIGITAL 450では選択できません。）
320	320×240画素
160	160×120画素

1 FUNC. メニューから *または *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

* 現在の設定が表示されます。

2 ボタンで圧縮率または記録画素数を選ぶ

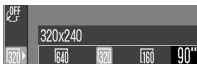
圧縮率(動画を除く)

、、 のいずれかを選びます。

記録画素数(静止画)

L 、M1 、M2 、S のいずれかを選びます。

記録画素数(動画)

640 *、320 、160 のいずれかを選びます。

このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

* IXY DIGITAL 450の場合、640 はありません。

3 FUNC. ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

- 1画像の容量(目安)(p.149)
- CFカードの種類と記録可能画像数の目安(p.147)

クイック撮影する

一瞬のシャッターチャンスを逃がさずに撮影できます。

- ファインダーを使って撮影する場合、クイック撮影は選択できません。
- カメラがAF中は、液晶モニターの表示画面が静止します。

DISP.

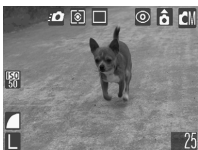
1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける

2 [(撮影)]メニューから を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

MENU

3 ボタンで[入]を選び、MENUボタンを押す

・撮影画面に戻ります。
・クイック撮影を[入]にすると、液晶モニター表示(情報表示あり)時、 が表示されます。

ストロボを使って撮る

撮影状況に合わせて、ストロボモードを切り換えて撮影します。

ϟA	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。
◎	赤目緩和オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。常に赤目緩和ランプを発光します。
ϟ	常時発光	常にストロボを発光して撮影します。
⊘	発光禁止	撮影時にストロボは発光しません。
★	スローシンクロ	遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。 常に赤目緩和ランプを発光します。 三脚をお使いになることをおすすめします。

	■	■M	⧉
ϟA	○	○	−
◎	○	○	−
ϟ	−	○	△
⊘	○	○	△
★	−	○	△

○:設定可
△:最初の1画像のみ設定可

1 ϟ ボタンを押して、ストロボモードを切り換える

液晶モニターに、設定したストロボモードが表示されます。

- ISO 感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど白飛びしやすくなります。
- ストロボが発光禁止およびスローシンクロのとき、暗いところではシャッタースピードが遅くなり、画像がぶれることがありますのでご注意ください。
  - で撮影するとき
    手ブレしないように、カメラをしっかり持って撮影してください。
  - M、で撮影するとき
    での撮影よりも、シャッタースピードが遅くなるので、必ず三脚をお使いください。で撮影した画像が暗い場合、Mで撮影すると、より明るい画像が得られます。

- シャッターボタンを半押ししたときに、ランプが橙色に点灯するときは、ストロボが発光します。
- ストロボの充電には約10秒かかる場合があります。充電時間は使用状況やバッテリーの残量などにより変わります。充電中は撮影できません。
- ストロボの発光は、プリ発光とメイン発光の 2 回行われます。プリ発光(ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光)で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光(ストロボ撮影を行うための発光)に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- ストロボをお使いになるときは、通常撮影で 46cm 以上、マクロ撮影時で30cm以上、カメラを被写体から離してください。

赤目緩和機能について

- 暗い所でストロボを発光すると、ストロボの光が反射して目が赤く写ることがあります。このようなときは、赤目緩和で撮影してください。その場合、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。また、「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」とより効果があります。
- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために、約1秒間シャッターは切れません(クイック撮影時は除く)。すぐにシャッターを切りたいときは、ストロボの設定を 、 または にして撮影してください。

至近距離/遠距離で撮る

(マクロアイコン)	至近距離（マクロ）	レンズ前面から被写体までの距離が5cm（テレ端では30cm）～46cmのときに使います。
(遠景アイコン)	遠距離（遠景）	風景を撮影するときに使います。 近いものと遠いものが混在していて、遠いものを撮影したいときにも使います。

	(オート)	(マニュアル)	(スティッチアシスト)	(動画)
(マクロ)	○	○	△	○
(遠景)	−	○	△	○

○：設定可
△：最初の1画像のみ設定可

1 **/ ボタンを押して、マクロ/遠景モードを切り換える**

液晶モニターに、設定したマクロ / 遠景モードが表示されます。

マクロ/遠景モードを解除するには

/ ボタンを押して、 または の表示を消します。

- マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーをお使いになると、撮影範囲がずれます（p.36）。
- マクロモードで撮影距離が 5 ～ 30cm のときにストロボをお使いになると、画像の明るさが適切にならないことがあります。

マクロモード時の撮影範囲について

（ズーム位置がテレ端とワイド端の間のとき、レンズ前面から被写体までの距離は、テレ端と同じになります。）

	レンズ前面から被写体までの距離	撮影範囲
テレ端*1	30cm	107 × 80mm
ワイド端*2	5cm	58 × 43mm

*1 最も望遠側
*2 最も広角側

デジタルズームで撮る

液晶モニターがついているときは、光学ズームと組み合わせて次の倍率（目安）に拡大できます。

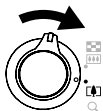
・IXY DIGITAL 500：約3.8倍、4.9倍、6.1倍、7.6倍、9.3倍、12倍
・IXY DIGITAL 450：約4.3倍、5.3倍、6.7倍、8.2倍、11倍

1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける

2 [（撮影）]メニューからを選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

3 ボタンで[入]を選び、MENUボタンを押す

撮影画面に戻ります。

4 ズームレバーを [♠] 側に押す

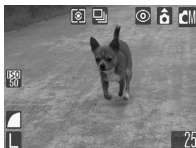
- 画面右上に光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します。再度 [♠] 側へ押すと、デジタルズームが働き、さらに拡大できます。
- [♣♣♣] 側へ押すと、倍率が下がります。

液晶モニターが消えているときは、デジタルズームを使えません。

デジタルズームは、拡大するほど画像が粗くなります。

連続して撮る

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。シャッターボタンを放すと撮影が終了します。

通常連続撮影アイコン	通常連続撮影	液晶モニターで画像を確認しながら連続撮影したいときにおすすめします。ただし、シャッター間隔は高速連続撮影アイコンより長くなります。
高速連続撮影アイコン	高速連続撮影	速いシャッター間隔で連続撮影したいときにおすすめします。ただし、画像を確認しながら連続撮影できません。

1 **/ ボタンを押して または を表示させる**

・連続撮影速度は次のようになります。*
のとき：約1.5画像/秒
のとき：
IXY DIGITAL 500：約2.2画像/秒
IXY DIGITAL 450：約2.5画像/秒

* ラージ / ファイン、液晶モニター非表示時（当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります）

連続撮影を解除するには

/ ボタンを2回押して を表示させます。

連続撮影の速さを変更する

1 **[（撮影）]メニューから を選ぶ**

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

2 **ボタンで または を選び、MENUボタンを押す**

撮影画面に戻ります。

- 内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が多少長くなることがあります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

セルフタイマーで撮る

シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影されます。撮影者といっしょに記念写真を撮りたい場合などに使います。すべての撮影モードで利用できます。

1 / ボタンを押して または を表示させる

・シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーがスタートし、セルフタイマーランプが点滅します。
・ は、シャッターボタンを全押ししてから10秒後に、 は2秒後に撮影されます。

セルフタイマーを解除するには

/ ボタンを押して を表示させます。

セルフタイマーの時間を変更する

1 [(撮影)]メニューから を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

2 ボタンで または を選び、MENUボタンを押す

・撮影画面に戻ります。
・ を選んだときは、撮影 2 秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り、点滅も速くなります。
・ を選んだときは、シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が鳴って、2秒後に撮影されます。

撮影する

セルフタイマー音は、[(マイカメラ)]メニューの[セルフタイマー音]で変更できます(p.46)。

マニュアルで撮る

自分でいろいろな設定を変更し、思い通りの撮影ができます。

1 モードスイッチを(撮影)にし、モードダイヤルをMにする

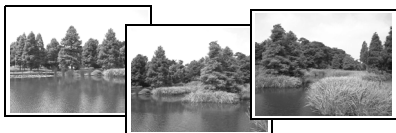
2 設定を変更する

このモードで変更できる設定(p.160)

3 撮影する(p.38)

シャッターボタンを半押ししたとき、ピントが合いにくいときは、電子音が1回鳴り、ファインダー接眼部横の下側のランプが黄色に点滅します。このときAF枠は黄色になります。
(AiAFが[入](p.71)のときは、AF枠は表示されません。)

パノラマ画像を撮る(スティッチアシスト)

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成(スティッチ)し、パノラマ画像を作るときに使います。

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

パソコンでの画像合成は、付属の「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえかた

PhotoStitchは、隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分には、できるだけ特徴のある被写体（目印となる被写体）を入れて撮影してください。

- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の 30 ～ 50%になるように撮影します。また、上下のズレは、画像の高さの10%以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体などが入らないように注意してください。
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。物体がゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけそろえてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。
- 至近距離では、カメラをスライド（カメラを被写体に対して平行移動）させます。

撮影する

スティッチアシストには、次の２つの撮影方向があります。

	左➡右	左から右方向へ水平に撮影します。
	左⬅右	右から左方向へ水平に撮影します。

1 **モードスイッチを（撮影）にし、モードダイヤルをにする**

2 ボタンで撮影方向を選び、SETボタンを押す

3 最初の画像を撮影する

1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。

4 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

- ボタンを押すと、撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

5 同様の操作で3画像目以降を撮影する

最大26画像まで撮影できます。

6 最後の画像の撮影後、SETボタンを押す

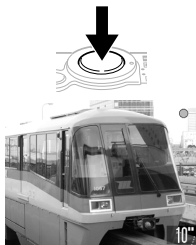
- マニュアルホワイトバランスの場合、スティッチアシストでは基準となる白データの取り込みができません。あらかじめ、他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください(p.76)。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。
- テレビと接続しても、液晶モニターの画像をテレビに表示して撮影できません。

このモードで変更できる設定**(p.160)**

動画を撮る

	IXY DIGITAL 500	IXY DIGITAL 450
640	640×480画素	ー
320	320×240画素	
160	160×120画素	

1 モードスイッチを(撮影)にし、モードダイヤルをにする

液晶モニターがつき、記録可能時間(秒数)が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しする

・撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
・撮影中は、液晶モニターに撮影秒数と赤丸が表示されます。

3 撮影を終了するときは、再度シャッターボタンを全押しする

・1回の最長撮影時間（640:10フレーム/秒、320 160:15フレーム/秒）は、640:約30秒、320:約3分、160:約3分（当社測定条件による）です。

＊お使いの CF カードによって、撮影時間が異なります。詳細はp.147をご覧ください。

・最長撮影時間は、被写体、撮影状況などにより変わることがあります。これらの時間が経過するか、またはCFカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影が終了します。

- 以下のようなCFカードをお使いのときは、撮影中に正しい撮影時間が表示されなかったり、撮影が途中で中断されることがあります。
  - 書き込み速度が遅い
  - 他のカメラやパソコンで初期化した
  - 撮影/消去を繰り返した

  撮影時間が正しく表示されないときも、CFカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。CFカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いCFカードを除く）。
- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したCFカードをお使いください（p.100）。付属のCFカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、マイクに触れないようにしてください。
- AE、AF、ホワイトバランス、ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- 撮影後、CFカードへの記録中はファインダー接眼部横の上側のランプが緑色に点滅します。このときは撮影できません。

- このモードで変更できる設定(p.160)
- 音声は、モノラルで録音されます。
- 動画撮影時はシャッター音は鳴りません。
- 動画ファイル(ファイル形式:AVI、圧縮形式:Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0 以上が必要です(付属のDigital Camera Solution Diskには、Windows版のQuickTimeが収められています。なお、Mac OS 8.5以降には標準装備されています)。

ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック、AFロック)

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

・コントラストが極端に低い被写体
・画像中央部が極端に明るい被写体
・高速で移動する被写体
・ガラス越しの被写体:できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。
・横じまがある被写体

フォーカスロックで撮る

1 **ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体をファインダー中央、または液晶モニターに表示されているAF枠に収める**

2 **シャッターボタンを半押しする(電子音が2回鳴ります)**

被写体までのピントのあった距離が記憶されます。

3 **カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする**

AFロックで撮る

1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける

2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、AF枠の中に収める

3 シャッターボタンを半押しし(電子音が2回鳴ります)、✿/▲ボタンを押す

・被写体までのピントのあった距離が記憶されます。

・AFLが表示され、ファインダー接眼部横の下側のランプが黄色に点灯します。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

AFロックを解除するには

✿/▲ボタンを押します。

- フォーカスロックは、どの撮影モードでも設定できます。
- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、AiAFを[切](p.71)にすると、中央のAF枠1点だけが有効になるので、撮影しやすいです。
- AFロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後もAFロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。
- AFロックは、ズームレバー、**MENU**ボタンを押したり、撮影モードを変更した場合、または液晶モニターを非表示にすると解除されます。

露出を固定して撮る(AEロック)

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

ストロボは必ず 🅧 に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AEロックが働きません。

1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける

2 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

3 シャッターボタンを半押しし(電子音が2回鳴ります)、◉ボタンを押す

- 被写体に必要な露出量を記憶します。
- AEL が表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

AEロックを解除するには

◉ボタンを押します。

AEロックは、ズームレバー、**MENU**ボタン、⚡ボタンを押したり、ホワイトバランス、ISO感度、色効果、撮影モードを変更した場合、または液晶モニターを非表示にすると解除されます。

FEロックで撮る

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける

2 ボタンを(何回か)押して、ストロボを に設定する

3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

4 シャッターボタンを半押しし(電子音が2回鳴ります)、 ボタンを押す

- ストロボがプリ発光し、被写体に必要な露出量を記憶します。
- が表示されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

FEロックを解除するには

ボタンを押します。

FE ロックは、ズームレバー、MENUボタン、ボタンを押したり、ホワイトバランス、ISO感度、色効果、撮影モードを変更した場合、または液晶モニターを非表示にすると解除されます。

ピントの合わせかたを切り換える

AF機能はAiAF（AF枠9個）に設定されていますが、中央1点のAFに切り換えられます。

[AiAF]を[入]にしても、AF 枠は表示されませんが、[切]を選択するとAF枠が表示されます。

（枠なし）	入	撮影状況に応じて、9つのAF枠の中からカメラが自動的にAF枠を選択してピントを合わせます。
□	切	中央の AF 枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

□は、液晶モニター上に表示されます。

1 [（撮影）]メニューから を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

2 ボタンで[入]または[切]を選ぶ

このあと、すぐに撮影できます。

3 MENUボタンを押す

撮影画面に戻ります。

デジタルズーム使用時は、AF枠は中央1点に固定されます。

測光方式を切り換える

測光方式を切り換えて撮影できます。

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出にします。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

1 ボタンで測光方式を切り換える

液晶モニターに設定した測光方式が表示されます。

露出を補正する

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまったり、夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正します。

1 FUNC. メニューから ±0 *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

* 現在の設定が表示されます。

2 ボタンで露出を補正する

・補正量は、－2〜＋2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
・液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、補正値を変更できます。

3 FUNC. ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

露出補正を解除するには

補正値を「0」に戻します。

長秒時設定で撮る

暗い被写体を明るく撮影したいときは、シャッタースピードを遅くして、撮影できます。

1 [(撮影)]メニューから を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

2 ボタンで[入]を選び、MENU ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

3 FUNC. メニューから ±0 *を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

* 現在の設定が表示されます。

4 ボタンでシャッタースピードを選ぶ

・数値が大きいほど明るくなり、数値が小さいほど暗くなります。
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

5 FUNC. ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

長秒時撮影を解除するには

長秒時撮影の**FUNC.**メニューが表示されているときに、**SET**ボタンを押します。

シャッタースピードが遅くなると、CCDの特性により撮影した画像にノイズが増えますが、このカメラはシャッタースピードが1.3秒より遅くなると、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます(ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります)。

- 意図した明るさで撮影されているかは、液晶モニターで確認してください。
- シャッタースピードが遅くなるので、手ブレしやすくなります。液晶モニターに（手ブレ警告）が表示されたら、三脚を使って撮影してください。
- ストロボを発光すると、露出オーバーになることがあります。その場合は、ストロボをにして撮影してください。
- 長秒時設定で撮影するときは、次の設定ができません。
  ・露出補正　・測光方式　・AEロック　・FEロック
  ・ISO感度[AUTO]　・ストロボ[オート][赤目緩和オート]

設定できるシャッタースピードについて

15　13　10　8　6　5　4　3.2　2.5　2　1.6　1.3　1（秒）

色合いを調整する（ホワイトバランス）

撮影時の光源に応じて色調（ホワイトバランス）を設定すると、その光源に合った適正な色になります。

アイコン	設定	説明
AWB	**オート**	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択します。
	くもり	曇天や日陰、薄暮などで撮影するときに選択します。
	電球	電球、電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択します。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択します。
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択します。
	マニュアル	白紙などを使って、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定します。

1 **FUNC. メニューから AWB *を選ぶ**

メニューの選択と設定のしかた（p.40）
（p.40）

* 現在の設定が表示されます。

2 **ボタンで設定するホワイトバランスを選ぶ**

- マニュアルホワイトバランス（下記参照）
- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で設定を確認できます。
- このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

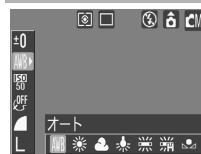
3 **FUNC. ボタンを押す**

撮影画面に戻ります。

色効果が の場合、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙や布など、白を基準としたいものをカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。

- 至近距離（マクロ）で撮影するとき
- 単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
- 水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC. メニューから AWB *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

* 現在の設定が表示されます。

2 ◀▶ボタンで ☐ を選ぶ

3 カメラを白い紙や布に向け、SETボタンを押す

・液晶モニターを使う場合は、中央の枠いっぱいに、またファインダーを使う場合は、画面いっぱいに白い紙や布が表示されるよう構図を決めてからSETボタンを押してください。SETボタンを押すと、白データが取り込まれます。

・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC. ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

- 撮影モードを Mにし、露出補正を±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ストロボ
    ストロボは、常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。ストロボが赤目緩和オート/オートに設定されているときに、マニュアルホワイトバランスを設定する場合、白データ取り込みの際にストロボが発光したときは、撮影時もストロボを発光させてください。
  - ISO感度
- 液晶モニターを使い、ズームを最も望遠側にすることをおすすめします。このとき、デジタルズームは[切]にしてください。
- では、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。

色効果を切り換える

色効果を切り換えると、画像の印象を変えて撮影できます。

	効果切	通常はこの設定で撮影します。
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いで撮影します。
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いで撮影します。
	ソフト	輪郭の強調を抑えて撮影します。
	セピア	セピア色で撮影します。
	白黒	白黒で撮影します。

1 FUNC. メニューから *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

* 現在の設定が表示されます。

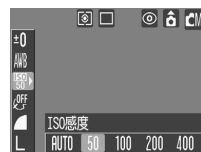
2 ボタンで色効果を選ぶ

・液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で色効果を確認できます。
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

3 FUNC. ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

ISO感度を変更する

暗いところで手ブレを抑えたり、ストロボをオフにして撮影したいとき、あるいはシャッタースピードを速くしたいときには、ISO感度を上げます。

1 FUNC. メニューから ISO 50 *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

* 現在の設定が表示されます。

2 ボタンで感度を選ぶ

このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

3 FUNC. ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

- ISO感度を上げると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
- [AUTO] を選択すると、最適な画質になる感度に設定されます。また、被写体を照らすストロボ発光量が十分でない場合は、自動的に感度が上がります。

縦横自動回転の設定をする

このカメラにはSIセンサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。この機能の入/切を設定できます。

1 [(設定)]メニューから を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

2 ボタンで[入]を選び、MENUボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。
- 縦横自動回転を[入]にすると、液晶モニター表示(情報表示あり)時、画面右上に (通常)、 (右が下)、または (左が下)が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン( )を確認し、正しく天地を判断しない場合は、[切]にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が[入]のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

- このカメラは、SIセンサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入/切に関係なく有効です。
- カメラの縦・横の向きを変えると、その向きを検出する機構により、カメラ内部で音がすることがありますが、故障ではありません。

ファイル番号をリセットする

撮影した画像には、自動的にファイル番号が付きます。新しいCFカードを入れたとき、このファイル番号を前のCFカードの続きにするかどうかを設定できます。

入	新しい CF カードを入れるたびにファイル番号が初期値(100-0001)に戻ります。記録済みのCFカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後のファイル番号が記憶され、新しいCFカードを入れても続きのファイル番号になります。

1 [(設定)]メニューから を選ぶ

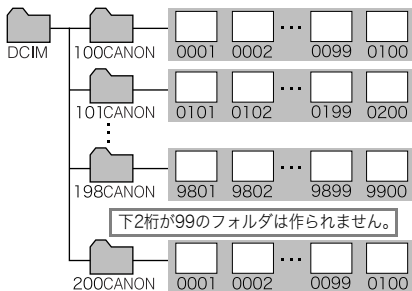
メニューの選択と設定のしかた(p.40)

2 ボタンで[入]または[切]を選び、MENUボタンを押す

撮影画面に戻ります。

番号リセット機能を[切]で撮影すると、ファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。

ファイル番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001～9900までのファイル番号が割り振られ、各フォルダには、100～998までの番号が割り振られます（下2桁が99のフォルダは作られません）。

ファイル数について

ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。
ただし、連続撮影やスティッチアシストで撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。また、他のカメラで撮影したり、パソコンから画像をコピーすると、ひとつのフォルダ内に101画像以上を保存できますが、2001以上の画像が保存されているフォルダ内の画像は、このカメラで再生できませんのでご注意ください。

1画像ずつ見る（シングル再生）

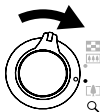
1 モードスイッチを［▶］（再生）にする

最後に撮影した画像が表示されます。

2 ◀ ▶ボタンで表示画像を切り換える

◀ボタンで前の画像、▶ボタンで次の画像を表示します。ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

他のカメラで撮影したり、パソコンまたは他のアプリケーションソフトウェアで編集した画像は、このカメラで再生できないことがあります。

🔍拡大して見る

表示位置の目安

1 ズームレバーを🔍側に押す

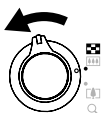
- シングル再生で表示している画像を、最大約10倍まで拡大して表示できます。
- SETボタンを押しながら、ズームレバーを🔍側に押すと、画像が約2.5倍→約5倍→約10倍の順に拡大表示されます。
- SETボタンを押しながら、ズームレバーを⊞側に押すと、約5倍→約2.5倍→通常の順に戻ります。

2 ▽△または◁▷ボタンで表示位置を変更する

拡大表示を解除するには

ズームレバーを ▦ 側に押します。

動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

▦ 9画像ずつまとめて見る(インデックス再生) ▶

1 ズームレバーを ▦ 側に押す

9画像ずつまとめて表示されます。

2 ▽△または◁▷ボタンで選択画像を切り換える

シングル再生に戻るには

ズームレバーを Q 側に押します。

9画像ずつ表示を切り換える

1 インデックス再生時に、ズームレバーを側に押す

ジャンプバーが表示されます。

2 ボタンで前または次の9画像に切り換える

SETボタンを押しながらボタンを押すと、最初または最後の9画像を表示します。

インデックス再生に戻るには

ズームレバーを側に押します。

動画を見る

で撮影した動画を再生します。

インデックス再生のときは、動画は再生できません。

1 ボタンで動画を選ぶ

SET の表示されている画像が動画です。

SET

2 SETボタンを押す

・動画再生パネルが表示されます。
・ ボタンで音量を調節できます。

SET

3 ボタンで（再生）を選び、SETボタンを押す

・動画と音声が再生されます。
・再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。その状態でSETボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。再度SETボタンを押すと、先頭フレームから再生されます。

再生の一時停止/再開

SET

1 再生中に、SETボタンを押す

再生を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。

動画再生パネルの操作

SET

1 再生したい動画を選び、SETボタンを押す（p.85）

動画再生パネルが表示されます。

SET

2 ◀▶ボタンで次のいずれかの操作を選び、SETボタンを押す

- ↩：終了してシングル再生に戻る（MENUボタンを押しても、シングル再生に戻ります）
- ▶：再生
- ⏮：先頭フレームを表示
- ◀Ⅱ：フレーム戻し（SETボタンを押し続けると巻き戻ります）
- Ⅱ▶：フレーム送り（SETボタンを押し続けると早送りします）
- ⏭：最終フレームを表示
- ✂：編集（動画編集モードに切り換えます）（p.88）

- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。
- 他のカメラで撮影した動画などは、再生できない場合があります（「メッセージ一覧」（p.131））。

- [🔧 （設定）]メニューでも、動画の再生音量を調節できます（p.46）。
- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p.120）。

動画を編集する

動画再生パネルで ✂ を選ぶと、撮影した動画の前部または後部の不要な部分を削除できます。

プロテクトされている動画、撮影時間が1秒未満の動画は編集できません。

1 ボタンで動画を選び、SETボタンを押す

動画編集パネル

動画編集バー

2 動画編集モードに切り換える

・動画再生パネルの操作（p.86）

・動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

3 ボタンで または を選び、ボタンで削除する位置を指定する

:前部を削除

:後部を削除

:編集位置

4 ⊖⊖ボタンで▶(再生)を選び、SETボタンを押す

・仮編集された動画が再生されます。
・再生中にSETボタンを押すと停止します。

5 ⊖⊖ボタンで(保存)を選び、SETボタンを押す

(終了)を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

6 ボタンで[新規保存]または[上書き保存]を選び、SET ボタンを押す

・[新規保存]:編集した画像に新しいファイル名を付けて保存します。編集前のデータは残ります。
・[上書き保存]:編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
・CFカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

- 編集した動画の最少時間は1秒です。
- 編集した動画を保存するとき、約3分かかることがあります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、フル充電のバッテリーあるいはACアダプターキット ACK500(別売)をお使いになることをおすすめします(p.138)。

回転して表示する

時計方向に90度、270度に回転して表示します。

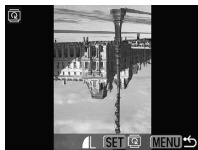
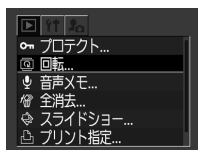
元画像

90度

270度

1 [(再生)] メニューから を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

SET

2 ボタンで回転する画像を選び、SETボタンを押す

SETボタンを押すごとに、90度→270度→元画像が表示されます。

3 MENUボタンを押す

メニュー画面に戻ります。もう一度MENUボタンを押すと、再生画面に戻ります。

- 動画は回転できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

- 画像を回転したあとで、拡大することもできます(p.83)。
- 縦横自動回転の設定(p.80)が[入]のとき、縦位置で撮影した画像をカメラの液晶モニターに表示すると、画像は自動的に縦位置に回転して表示されます。

音声メモを付ける

画像の再生中(シングル再生、インデックス再生、拡大再生)に、最長60秒の音声メモを付けることができます。音声データはWAVE形式で保存されます。

1 [▶(再生)] メニューから🎤を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

SET

2 ◀▶ボタンで音声メモを付ける画像を選び、SETボタンを押す

音声メモパネルが表示されます。

音声メモパネル

SET

3 **◀▶ボタンで●（録音）を選び、SETボタンを押す**

- 録音が始まり、録音時間と録音可能時間が表示されます。カメラのマイクに向かって音声を発してください。
- 録音中にSETボタンを押すと停止します。引き続き録音するときは、もう一度SETボタンを押します。
- 1 画像につき、合計が 60 秒に達するまで録音を追加できます。
- ↩（終了）を選び、SET ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

再生画面に戻るには

MENUボタンを（何回か）押します。

音声メモの再生/消去

SET

1 **音声メモの付いた画像を表示し（p.91）、SETボタンを押す**

- 液晶モニターに表示したときに、♪、🎤が表示されていることを確認してください。
- 音声メモパネルが表示されます。

音声メモパネル

2 ボタンで（再生）または（消去）を選び、SETボタンを押す

（再生）

・音声メモが再生されます。再生中に SET ボタンを押すと停止します。引き続き再生するときは、もう一度SETボタンを押します。

・ボタンで音量を調節できます。

（消去）

・確認の画面が表示されます。ボタンで[消去]を選んでSETボタンを押します。

一時停止中に（停止）を選んで、SETボタンを押すと、音声メモの再生が最初に戻ります。

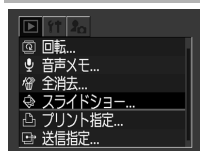
- 動画には音声メモを付けられません。
- CFカードの容量がいっぱいになると、「カードがいっぱいです」のメッセージが表示されて録音できません。
- 画像に互換性のない音声ファイルが添付されている場合は、録音、再生はできません。録音、再生をしようとすると、「互換性のないWAVEです」のメッセージが表示されます。なお、互換性のない音声データはこのカメラで削除できます。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

[（設定）]メニューでも、音声メモの音量を調節できます（p.46）。

画像を自動再生する（スライドショー）

スライドショーを始める

CFカード内の全画像または選択した画像を自動再生します。
スライドショーの画像指定は DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています（p.104）。

全画像	CFカード内のすべての画像を順に再生します。
ショー1～ショー3	各ショーでマークされている画像を順に再生します（p.95）。

1 [（再生）] メニューから を選び、SETボタンを押す

・メニューの選択と設定のしかた（p.40）
・スライドショーメニューが表示されます。

2 ボタンで[スライド]を選び、ボタンで、[全画像]、[ショー1]～[ショー3]のいずれかを選ぶ

[ショー1]～[ショー3]で再生する画像を選ぶ方法は、p.96の手順3以降をご覧ください。

3 ボタンで[スタート]を選び、SETボタンを押す

スライドショーが開始されます。終了するとスライドショーメニュー画面に戻ります。

MENUボタンを押す

メニュー画面に戻ります。もう一度MENUボタンを押すと、再生画面に戻ります。

- 動画は、設定した再生間隔にかかわらず、記録した時間で再生されます。
- スライドショーで自動再生中は、節電機能は働きません（p.29）。

スライドショーの一時停止/再開

SETボタンを押す

スライドショーを一時停止します。再度SETボタンを押すと再開します。

画像の送り/戻し

ボタンを押す

前または次の画像を表示できます。ボタンを押し続けると早く進みます。

スライドショーの中止

MENUボタンを押す

スライドショーが中止され、スライドショーメニューが表示されます。

再生する画像を選ぶ

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、[ショー1]から[ショー3]に保存します。最大998画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 スライドショーメニューを表示する

スライドショーを始める(p.94)

2 ▲▼ボタンで[スライド]を選び、◀▶ボタンで、[ショー1]～[ショー3]のいずれかを選ぶ

すでに画像指定されているショーには、白いチェックマークが表示されています。

3 ▲▼ボタンと◀▶ボタンで[画像指定]を選び、SETボタンを押す

4 再生する画像を選ぶ

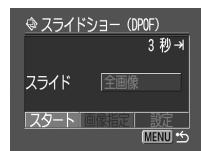
- ◀▶ボタンで画像を選び、▲▼ボタンで選択または選択を解除します。選択した画像には、選択順の番号と白いチェックマーク（✓）が表示されます。
- ズームレバーを▦側に押して、インデックス再生（3画像表示）に切り換えても、同じ方法で選択できます。
- インデックス再生時に、SETボタンを押すと、[全画像指定]または[全画像解除]が選べます。選ぶときは、▲▼ボタンで項目を選び、SETボタンを押します。

5 MENUボタンを押す

再生画面に戻るまで、MENUボタンを押して操作を終了します。

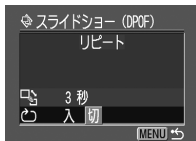
再生間隔やリピート設定をする

再生間隔やリピート設定をします。

	再生間隔	スライドショーで1画像を表示する時間を指定します。3〜10秒、15秒、30秒、手動を指定できます。
	リピート	スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

1 スライドショーメニューを表示する

スライドショーを始める(p.94)

2 ◁ ▷ボタンで[設定]を選び、SETボタンを押す

3 △▽ボタンで または を選び、◁ ▷ボタンで設定したい内容を選ぶ

(再生間隔)

再生時間を選びます。

(リピート)

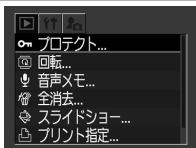
[入]または[切]を選びます。

4 MENUボタンを押す

設定が終了します。再度押すと再生メニューの画面に戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

- 画像によっては、設定した時間と多少異なる再生間隔で再生されることがあります。
- 付属のソフトウェア(ZoomBrowser EXまたはImageBrowser)を使用すると、スライドショーの編集が簡単に行えます。

画像をプロテクト(保護)する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。

1 [(再生)] メニューから を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

プロテクトマーク

2 ボタンでプロテクトしたい画像を選び、SETボタンを押す

- プロテクトを設定した画像には、 が表示されます。
- ズームレバーを 側、 側に押してシングル再生とインデックス再生を切り換えても指定できます。

MENU

3 MENUボタンを押す

再生メニューに戻ります。再度押すと、再生画面に戻ります。

プロテクトを解除するには

手順1の後、プロテクトを解除したい画像を選び、SETボタンを押します。

CFカードを初期化（p.100）すると、プロテクトした画像も消去されます。ご注意ください。

1画像ずつ消去する

撮影の失敗や不要になった画像は、1画像ずつ消去できます。

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 ボタンで消去したい画像を選び、ボタンを押す

2 ボタンで[消去]を選び、SETボタンを押す

消去を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

全画像を消去する

CFカードに保存されているすべての画像を消去します。

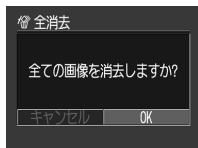
- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 **[▶(再生)] メニューから全消去を選び、SETボタンを押す**

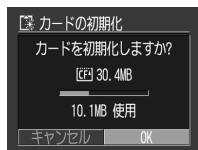
メニューの選択と設定のしかた（p.40）

SET

2 **◀▶ボタンで [OK] を選び、SETボタンを押す**

全消去を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

CFカードを初期化する

新しいCFカードをお使いになるときや、CFカード内の画像だけでなく他のデータもすべて削除したいときは、CFカードを初期化します。

初期化すると、CFカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

1 [(設定)] メニューから を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

2 ボタンで [OK] を選び、SETボタンを押す

・初期化を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。
・初期化するとき、お使いのCFカードのラベルに記載された容量よりも少ない数値が表示されますが、CFカード、またはカメラの故障ではありません。

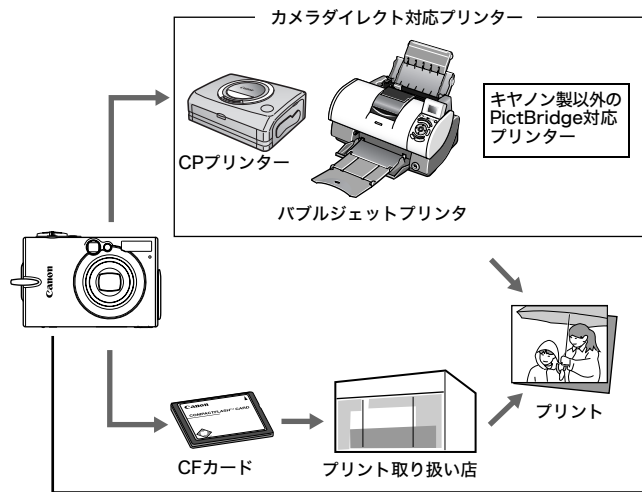
- カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
- キヤノン製以外のCFカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。正しく初期化されないときは、電源を切ってからCFカードを入れ直し、再度初期化してください。

プリントについて

このカメラで撮影した画像は、次の方法でプリントできます。

- カメラとカメラダイレクト対応プリンター*1をケーブルで直接つなぎ、カメラの🖨️〜ボタンを押すだけで、簡単にプリントできます。
- プリントする画像や枚数などを、あらかじめカメラで設定（DPOF*2プリント指定）しておけば、CFカードをプリント取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントできます。

*1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製以外のPictBridge対応プリンターでもプリントできます。
*2 Digital Print Order Formatの略

本書では DPOF のプリント指定を説明しています。プリント方法は、別冊のダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。また、お使いのプリンターの使用説明書もご覧ください。

このカメラで使えるカメラダイレクト対応CPプリンターについては、システムマップでご確認ください。カメラダイレクト対応バブルジェットプリンタは、カメラユーザーガイド裏表紙に記載されているホームページやバブルジェットプリンタ総合カタログでご確認いただくか、キヤノン販売お客様ご相談センターにお問い合わせください。

カメラダイレクト対応プリンターでのプリント

- カメラとプリンターの接続
- プリント設定(DPOFプリント指定以外)
- プリント

ダイレクトプリントユーザーガイド(別冊)をご覧ください。

DPOF プリント指定

- プリントしたい画像を選ぶ(p.104)

▼

- プリント枚数を決める(p.105)

▼

- プリントスタイルを設定する(p.107)
  - ・スタンダード/インデックス / 両方
  - ・日付:入/切
  - ・ファイル番号:入/切

プリント方法は、ダイレクトプリントユーザーガイド(別冊)をご覧ください。

DPOF 送信指定

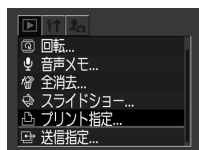
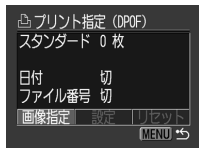
- パソコンに取り込む画像を決める(p.110)

DPOFのプリント指定

CFカードに記録されている画像の中から、プリントする画像や枚数をあらかじめカメラで指定できます。カメラダイレクト対応プリンターで一括してプリントするときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。
プリンターからプリントする方法は、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

プリントする画像を選ぶ

画像の指定には、次の2つの方法があります。

・1画像ずつ指定する
・CF カード内のすべての画像を指定する（プリント枚数は各画像につき1枚です。）

1 [(再生)] メニューから を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

2 ボタンで[画像指定]を選び、SETボタンを押す

■ 1画像ずつ指定する

プリント枚数表示

インデックスプリントの選択

3 プリントする画像を選ぶ

（プリントタイプ）の設定（p.107）によって指定方法が次のように異なります。

（スタンダード）/ （両方）

ボタンで画像を選び、ボタンでプリント枚数を指定します。（最大99枚まで）

（インデックス）

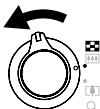
ボタンで画像を選び、ボタンで指定、指定解除を行います。指定されるとチェックマークが付きます。

ズームレバーを 側に押してインデックス再生（3 画像表示）に切り換えても、同じ方法で指定できます。

MENU

4 MENUボタンを押す

プリント指定メニューに戻ります。再度押すと再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

■ CFカード内のすべての画像を指定する

3 ズームレバーを 側に押す

インデックス再生（3画像表示）に切り換わります。

SET

4 SETボタンを押す

5 ボタンで[全画像指定]を選び、SETボタンを押す

・すべての画像に対して 1 枚ずつプリント指定されます。
・プリントタイプが (スタンダード)/ (両方)の場合、各画像のプリント枚数を変更できます。(インデックス)の場合は、プリント指定を解除できます。
・[全指定解除]を選ぶと、すべての指定を解除できます。

6 MENUボタンを押す

プリント指定メニューに戻ります。再度押すと再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCFカードの場合、 が表示されることがあります。このカメラでそれらのプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画はプリント指定できません。

- 撮影日時の古い画像から順にプリントされます。
- 最大998画像まで指定できます。
- [プリントタイプ]が[両方]の場合、プリント枚数は指定できますが、[インデックス]の場合は指定できません。[インデックス]は1枚のみプリントされます。
- 付属のソフトウェア(ZoomBrowser EXまたはImageBrowser)でもプリント指定ができます。

プリントスタイルを設定する

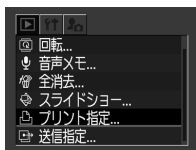
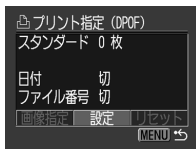
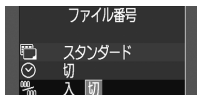
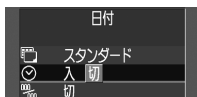
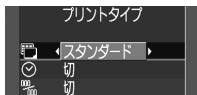
プリントする画像を選んでから、プリントスタイルを指定してください。次の内容を設定できます。

項目	設定	内容
プリントタイプ	スタンダード	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式でプリントします。
	両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。
ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

SET

1 [(再生)] メニューから を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

SET

2 ボタンで[設定]を選び、SETボタンを押す

3 ボタンで 、 、 のいずれかを選び、 ボタンで設定したい内容を選ぶ

（プリントタイプ）

[スタンダード]、[インデックス]、[両方]のいずれかを選びます。

（日付）

[入]または[切]を選びます。

（ファイル番号）

[入]または[切]を選びます。

MENU

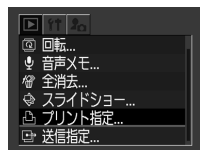
4 MENUボタンを押す

プリント指定メニューに戻ります。再度押すと再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

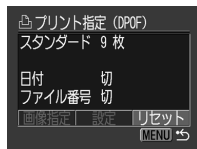
- [プリントタイプ]が[インデックス]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に設定することはできません。
- CP プリンター使用時に[プリントタイプ]が[両方]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定できますが、インデックスプリントには[ファイル番号]のみプリントされます。

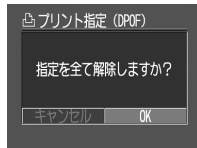
日付は、[日付 / 時刻]で設定した日付スタイルでプリントされます(p.24)。

プリントの設定をリセットする

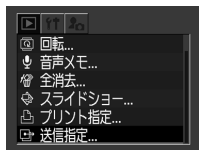
画像のプリント指定をすべて解除し、プリントタイプを[スタンダード]、日付を[切]、ファイル番号を[切]に戻します。

1 **[▶(再生)] メニューから🖨を選び、SETボタンを押す**

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

2 **◀▶ボタンで[リセット]を選び、SETボタンを押す**

3 **◀▶ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押す**

操作を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定しておくことができます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。ただし、Mac OS X をお使いの場合、送信指定した画像をパソコンに一括で送信できません。
なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定された CF カードの場合、▲ が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

送信する画像を選ぶ

1 [▶（再生）] メニューから を選び、SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

2 ボタンで[画像指定]を選び、SETボタンを押す

[リセット]を選ぶと、送信指定された画像をすべて解除します。

送信画像の選択

3 ボタンで画像を選び、ボタンで指定または指定を解除する

・指定されると、チェックマークが付きます。
・ズームレバーを側に押してインデックス再生(3画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。
・インデックス再生時、SETボタンを押すと、[全画像指定]または[全指定解除]を選べます。選ぶときは、ボタンで選び、SETボタンを押します。

MENU

4 MENUボタンを押す

送信指定メニューに戻ります。再度押すと再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

- 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- 最大998画像まで指定できます。

パソコンへの画像の取り込み

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いのOSによっては利用できない方法があります。

●カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

Windows 98 | Windows Me | Windows 2000 | Windows XP | Mac OS 9 | Mac OS X

ソフトウェアをインストールし、パソコンの操作で画像を取り込む
➡「カメラとパソコンを接続する(p.113)」、別冊のソフトウェアクイックガイド

Windows 98 | Windows Me | Windows 2000 | Windows XP

ソフトウェアをインストールし、カメラのボタン操作で画像を取り込む(初回のみパソコンの設定が必要)
➡「カメラとパソコンを接続する(p.113)」、「ダイレクト転送で画像を取り込む(p.116)」

Windows XP | Mac OS X

ソフトウェアをインストールしないで、パソコンの操作で画像を取り込む
➡「カメラとパソコンを接続する(p.113)」、(ソフトウェアのインストールは必要ありません)、「ソフトウェアを使わずに、カメラとパソコンを接続して画像を取り込む(p.118)」

●CFカードから直接画像を取り込む

カードアダプターやカードリーダーを使って画像を取り込みます。
➡「CFカードから直接画像を取り込む(p.119)」

カメラとパソコンを接続する

パソコンに必要なシステム構成

●Windows

OS	Windows 98(Second Editionを含む) Windows Me Windows 2000 Windows XP(Home Edition、Professional)
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	Windows 98 / Windows Me / Windows 2000:Pentium 150MHz以上 Windows XP:Pentium 300MHz以上 上記すべてのOS:Pentium 500MHz以上推奨(動画編集時)
RAM	Windows 98 / Windows Me / Windows 2000:64MB以上 Windows XP:128MB以上 上記すべてのOS:128MB以上推奨(動画編集時)
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX :200MB以上 (印刷ソフトウェアPhotoRecord含む) ・PhotoStitch : 40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver : 25MB以上 ●Canon Camera WIA Driver : 25MB以上
ディスプレイ	800×600ドット High Color(16bit)以上必要 1,024×768ドット以上推奨

●Macintosh

OS	Mac OS 9.0〜9.2、Mac OS X(v10.1/v10.2)
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC
RAM	Mac OS 9.0〜9.2:64MB以上のアプリケーション用メモリー Mac OS X(v10.1/v10.2):128MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser :120MB以上 ・PhotoStitch : 30MB以上
ディスプレイ	800×600ドット 32,000色以上必要 1,024×768ドット以上推奨

重要

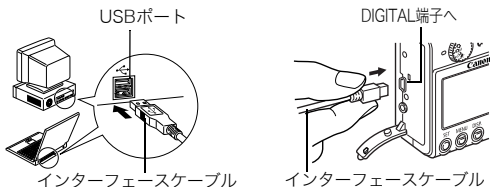
カメラとパソコンを接続する前に、必ず付属の Canon Digital Camera Solution Diskに収められているドライバとソフトウェアをインストールしてください。

ドライバとソフトウェアをインストールする前にカメラとパソコンを接続すると、カメラが正しく認識されません。このような場合には、ソフトウェアクイックガイドの「困ったときには」をご覧ください。

- インターフェースケーブルを接続するときに、カメラやパソコンの電源を切る必要はありません。
- パソコンの USB ポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。
- カメラをパソコンに接続する場合、フル充電したバッテリーまたはACアダプターキット ACK500(別売)をお使いになることをおすすめします(p.18、p.138)。
- USB 2.0 対応ボードとの接続は、全ての動作を保証するものではありません。

1 Canon Digital Camera Solution Diskから、ドライバとソフトウェアをインストールする

インストールの手順は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

2 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する

・カメラの DIGITAL 端子に接続するときは、端子カバーの上端に爪をかけて開き、カチッと音がするまで押し込みます。
・カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

3 カメラのモードスイッチを ▶ (再生)にする

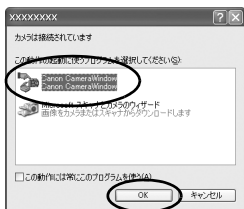
4 電源ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す

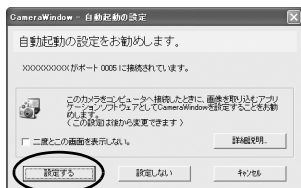
Windowsの場合:

➡引き続き、以下の手順5、6を行ってください。

Macintoshの場合:

➡ソフトウェアクイックガイドをご覧になり、画像の取り込みを行ってください。

5 パソコンに表示されるイベントダイアログで、[Canon CameraWindow]を選んで[OK]をクリックする(初回操作時のみ)

イベントダイアログが表示されない場合は、スタートメニューから[プログラム]または[すべてのプログラム]>[Canon Utilities]>[CameraWindow]>[CameraWindow-自動起動の設定]をクリックします。

6 [CameraWindow−自動起動の設定]ウィンドウで、[設定する]をクリックする(初回操作時のみ)

[画像のダウンロード]ウィンドウが表示されます。

ソフトウェアを使ってパソコンの操作で画像を取り込む場合:

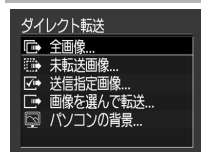
➡ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)場合:

➡「ダイレクト転送で画像を取り込む(下記参照)」をご覧ください。

ダイレクト転送で画像を取り込む

カメラの操作で画像を取り込めます。
初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください(p.114)。

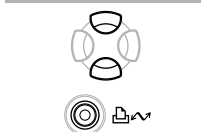
	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定(p.110)した画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら1画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

1 カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

・ボタンが青色に点灯します。
・ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENUボタンを押してください。

■ [全画像][未転送画像][送信指定画像]のとき

2 ボタンで、、のいずれかを選び、ボタンを押す

・取り込みを中止するときは、SETボタンを押してキャンセルします。
・画像が取り込まれ、取り込みが終了するとダイレクト転送画面に戻ります。

■ [画像を選んで転送][パソコンの背景]のとき

2 ボタンでまたはを選び、ボタン(またはSETボタン)を押す

3 ボタンで取り込みたい画像を選び、ボタン(または SET ボタン)を押す

画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。

4 MENUボタンを押す

ダイレクト転送画面に戻ります。

[パソコンの背景]の場合、JPEG 形式の画像のみが取り込めます。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。[画像を選んで転送]と[パソコンの背景]を選択していたときは、直ちに画像を選択する画面が表示されます。

ソフトウェアを使わずに、カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

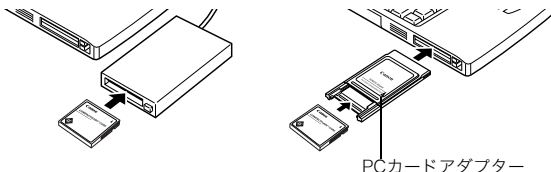
Windows XPまたはMac OS X (v10.1/v10.2)をお使いの場合、OSに標準で組み込まれているソフトウェアを使って、画像(JPEG 形式のみ)を取り込めます。Canon Digital Camera Solution Diskからソフトウェアをインストールする必要がなく、インターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続するだけで、会社やお友達のパソコンに画像を取り込めますので、便利です。
ただし、この方法で画像を取り込む場合、いくつかの制限事項があります。詳細は、付属の「Windows XP®、Mac OS Xをお使いの方へ」でご確認ください。

1 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する

(p.114の手順2〜4以降をご覧ください。)

2 パソコンに表示されるメッセージにしたがって画像を取り込む

CFカードから直接画像を取り込む

1 カメラからCFカードを取り出し、パソコンに接続されたCFカードリーダーに入れる

PCカードアダプター

・PCカードリーダーまたはPCカードスロットをお使いの場合は、まずCFカードをPCカードアダプター(別売)に差し込んでから入れてください。
・カードアダプターやカードリーダーへの接続のしかたなどは、各々の使用説明書でご確認ください。

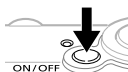
2 CFカードを接続したドライブをダブルクリックして開く

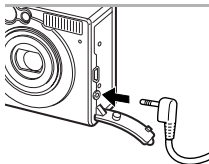
OSによっては、自動的に画面が表示されます。

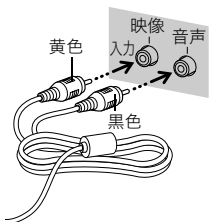
3 撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーする

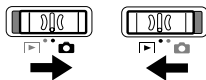
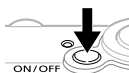
撮影した画像は、CFカード内の[DCIM]フォルダの中の[xxxCANON]フォルダ(xxxは100〜998の数字が入ります)にあります(p.82)。

テレビを使って撮影/再生する

付属のAVケーブル AVC-DC300をお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力形式は、日本国内で採用しているNTSC方式が初期設定になっています。

1 電源スイッチを押して、カメラの電源を切る

テレビの電源も切ってください。

2 カメラのA/V OUT端子にAVケーブルを接続する

端子カバーの上端に爪をかけて開き、AVケーブルを奥まで押し込みます。

3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

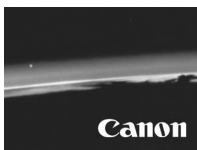
4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 モードスイッチを 📷（撮影）、または ▶（再生）にする

6 電源スイッチを押す

・画像がテレビに表示され、通常の撮影や再生ができます。
・撮影時、テレビに画像が表示されていないときは、**DISP.**ボタンを押します。

- 撮影モードが□のときは使用できません。
- 海外で使うとき(p.140)
- テレビ表示中は、液晶モニターに画像は表示されません。
- AVケーブルをステレオ対応のテレビに接続する場合は、音声入力端子の左右どちらかに接続してください。詳しくは、お使いのテレビの使用説明書でご確認ください。

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。このカメラでは起動画面や音をそれぞれ3種類の中から選べます。

例:起動画面

[1]

[2]

[3]

マイカメラコンテンツの[2]にはSF関連、[3]には動物関連のコンテンツがあらかじめ入っています。

マイカメラコンテンツを変更する

1 [(マイカメラ)]メニューを表示させる

メニューの選択と設定のしかた(p.40)

2 ボタンでメニュー項目を選ぶ

3 ボタンで設定したいコンテンツを選ぶ

4 MENUボタンを押す

・メニューが終了します。
・撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。

- 手順２で （セット）を選ぶと、[起動画面]、[起動音]、[操作音]、[セルフタイマー音]、[シャッター音]のすべてを同じテーマで選択できます。
- [起動音]、[操作音]、[セルフタイマー音]、[シャッター音]を 、 、 （入）に設定していても、[（設定）]メニューの[消音]が[入]になっているときは、電子音が鳴りません（p.48）。

マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの[ ][ ]には、CFカードに記録してある画像、新たに録音した音声をマイカメラコンテンツとして、その場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使って、パソコンにある画像や音声を登録したり、CANON iMAGE GATEWAY（オンラインフォトサービス→p.127）から、付属のソフトウェアを通じて、コンテンツをお使いのパソコンにダウンロードし、それをカメラに登録することもできます。

CFカード内の画像や音声を登録する

1 モードスイッチを （再生）にする

2 [（マイカメラ）]メニューを表示させる

メニューの選択と設定のしかた（p.40）

3 ボタンで登録したいメニュー項目を選ぶ

4 ボタンで または を選ぶ

が表示されます。

5 DISP.ボタンを押す

6 登録したい画像の選択または音声の録音をする

・起動画面

ボタンで登録したい画像を選んで、SETボタンを押します。

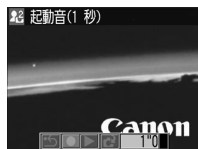
・起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

・ボタンで（録音）を選び、SETボタンを押します。録音が開始され、録音時間が経過すると自動的に録音が終了します。

・録音後、ボタンで（登録）を選んで、SETボタンを押します。

・登録しないでマイカメラメニューの画面に戻るときは、（終了）を選びます。

・録音した音を再生するときは（再生）を選びます。

SET

7 ボタンで [OK] を選んで、SET ボタンを押す

登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- 動画、音声メモ機能で録音した音声は、マイカメラコンテンツに登録できません。
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツのファイルフォーマット

マイカメラコンテンツは、以下のファイルフォーマットにしたがっていることが必要です。ただし、このカメラで撮影した CF カード内の画像は、下記フォーマットに関係なく登録できます。

起動画面

・記録画像フォーマット　JPEG（ベースラインJPEG）
・サンプリングレート　4:2:0もしくは4:2:2
・画像サイズ　320×240画素
・ファイル容量　20KB以下

起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

・記録フォーマット　WAVE（モノラル）
・量子化ビット　8bit
・サンプリング周波数　11.025kHzまたは8.000kHz

・記録時間

	11.025kHz	8.000kHz
起動音	1.0秒以下	1.3秒以下
操作音	0.3秒以下	0.4秒以下
セルフタイマー音	2.0秒以下	2.0秒以下
シャッター音	0.3秒以下	0.4秒以下

* 上記のフォーマット以外のファイルは、カメラに登録できません。

たとえば、[セルフタイマー音]で、「はい、チーズ！」などの掛け声を登録すると、シャッターが切れる2秒前にカメラが発声し、また他にもさまざまな音をお楽しみいただけます。陽気なリズムの音楽を登録すれば、目元もほころび、自然な笑顔を撮影できるかもしれません。演奏に合わせてポーズを決めるのも、マイカメラならではの撮影方法です。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録(無料)されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

*インターネットに接続できる環境(プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み)が必要です。
*プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iMAGE GATEWAYの会員になるとできること

ー次のサービスをご利用いただけますー

バージョンアップなど サポート情報の電子メール配信サービス(無料)

登録されたカメラのファームウェア / ソフトウェアのバージョンアップに関する最新情報を、ご希望の方にお知らせいたします。

オンラインアルバムサービス(無料)

- 撮影した静止画や動画*をCANON iMAGE GATEWAYにアップロードし、ネット上にご自分のアルバムを作成できます。
- 画像に付けたコメントや音声もアップロードできますので、オリジナルのアルバムをお楽しみいただけます。

*動画をアップロードするには、追加ソフトウェア(無料)を CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードし、事前にパソコンにインストールすることが必要です。

携帯電話アルバム通知・閲覧サービス(無料)

- お友達やご家族のパソコンや携帯電話に、作成したアルバムのURLをメールで知らせることができます。
  オンラインアルバムは、メールで通知されたURLからパソコンや携帯電話で直接見られるので、楽しい思い出を共有できます*(パソコンからは動画も閲覧できます)。
- 携帯電話は、お使いの機種に合わせて画像の大きさや色数が自動的に調整されます。

*携帯電話の通信料金は使用された方のご負担となります。また、カラー表示可能な携帯電話をご利用ください。

ホームプリンティングサービス(無料)

画面上の印刷ボタンを押すだけで、オンラインアルバム上のお好きな画像を、対応のキヤノン製プリンターで印刷できます*。ご自身だけでなく、お知らせメールを受けたお友達やご家族の方にもご利用いただけます。

* ご利用の際には、プラグインモジュールを CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードして、パソコンにインストールすることが必要です。

プリント注文サービス(有料)

- オンラインアルバムの画像は、インターネットから24時間、いつでもプリント注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- プリントサイズはDP判、L判、2L判、A4判、A3判、ポストカードサイズに対応しています。
- プリントは、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。
- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って(コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます。
- 携帯電話からもプリントを注文できます。

オリジナル写真集(マイブック)作成サービス(有料)

- CANON iMAGE GATEWAY のオンラインアルバムをプリント/製本して、本格的なオリジナル写真集を注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- 写真集は、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。
- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って(コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます。

マイカメラコンテンツのダウンロード(無料)

- マイカメラコンテンツをダウンロードし、カメラに登録できます。
- 多彩なコンテンツが用意されていますので、お好きなものをダウンロードしてカメラに登録すれば、ご自分だけのオリジナルカメラをお楽しみいただけます。

＊画面例はWindows XP用です。また、最新の画面表示と異なることがあります。

撮影・再生中に表示されるメッセージ

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中...	：撮影した画像をCFカードに記録しています。再生モードを起動中です。
カードがありません	：CF カードがカメラに入っていないときに撮影または再生しようとしました。
記録できません	：CF カードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。
カードが異常です	：CFカードに異常があります。
カードがいっぱいです	：CF カードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上プリント指定を保存できません。
ファイル名が作れません	：カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。撮影メニューで[番号のリセット機能]を[入]に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、CF カードを初期化してください。なお、初期化すると、CF カード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください	：バッテリーの残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。
画像がありません	：CFカードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます	：4064×3048画素より大きなサイズの画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。
互換性のないJPEGです	：互換性のない JPEG フォーマットの画像を再生しようとしました。
データが壊れています	：データが破壊されている画像を再生しようとしました。

RAW	:RAW形式で記録された画像を再生しようとしました。
認識できない画像です	:特殊なフォーマット(他社カメラ特有の記録フォーマットなど)で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。
拡大できない画像です	:動画、別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を拡大しようとしました。
回転できない画像です	:動画、別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。
互換性のないWAVEです	:録音済みの音声メモの形式が正しくないので、この画像に追加録音できません。
登録できない画像です	:動画やこのカメラ以外で撮影した画像を起動画面に登録しようとしました。
プロテクトされています	:プロテクトされている動画、画像を消去しようとしました。
指定が多すぎます	:プリント指定、送信指定の画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。
指定できない画像です	:JPEG 以外のファイルをプリント指定しようとしました。
Exx	:カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えてサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

現　象	原　因	対　処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	・電源スイッチをしばらく押してください。
	CFカードスロットカバーまたはバッテリーカバーが開いています。	・CF カードスロットカバーまたはバッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
	バッテリーの電圧が足りません。	・十分に充電されたバッテリーをカメラに入れてください。 ・ACアダプターキットACK500(別売)を使用してください。
	カメラとバッテリーの接触不良です。	・バッテリーの電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	モードスイッチを▶(再生)に合わせています。	・モードスイッチを📷にしてください。
	ストロボが充電中です。	・充電が完了すると、ランプが橙色に点灯します。シャッターボタンを押してください。
	CFカードの空き容量がありません。	・新しい CF カードを入れてください。 ・必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	CFカードが正しく初期化されていません。	・CFカードを初期化してください。 ➡「CFカードを初期化する(p.100)」参照 ・CFカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様相談センターにお問い合わせください。

現　象	原　因	対　処
再生ができない	他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	・付属のZoomBrowser EXやImageBrowserを使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できます。詳細は、ZoomBrowser EX/ImageBrowserのソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。
	ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	・ファイル名およびフォルダ構造は、カメラの形式にあったファイル名にしてください。 ➡「ファイル番号およびフォルダ番号について（p.82）」参照
レンズが出たままで収納されない	電源を入れたまま、CFカードスロットカバーまたはバッテリーカバーを開けようとしました。	・CFカードスロットカバーまたはバッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください。
	CFカードへの記録中に、CF カードスロットカバーまたはバッテリーカバーを開けようとしました（警告音が鳴ります）。	・CFカードスロットカバーまたはバッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください。
バッテリーの消耗が早い	常温（23℃）で使用しているときに消耗が早い場合は、バッテリーの寿命です。	・新しいバッテリーと交換してください。
バッテリーが充電できない	バッテリーの寿命です。	・新しいバッテリーと交換してください。
	バッテリーとバッテリーチャージャーの接触不良です。	・バッテリーをバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ・バッテリーチャージャーのコネクターを電源コンセントにしっかりと差し込んでください。

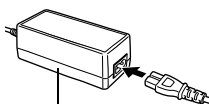
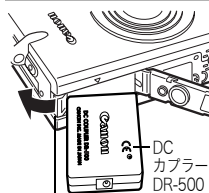
現　象	原　因	対　処
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	・シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。
	AF補助光投光部が何かで覆われているため、AF が機能していません。	・AF 補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光の設定が [切] になっています。	・AF 補助光の設定を [入] にしてください(p.44)。
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	・被写体から46cm以上離してください。 ・被写体から 30cm(ワイド端のとき 5cm)〜 46cm の距離で撮影するときは、マクロモードで撮影してください。 ・遠くの被写体を撮影する場合は、遠景モードで撮影してください。
	ピントが合いにくい被写体です。	・フォーカスロック、AFロックで撮影してください。 ➡「ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック、AFロック(p.67)」参照
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	・ストロボを常時発光してください。
	被写体が周辺に比べて暗すぎます。	・露出補正値をプラス側に設定してください。または、スポット測光をお使いください。
	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	・ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から 3.5m(ワイド端)/2.0m(テレ端)以内に近づけてください。 ・ISO 感度を上げて撮影してください。 ➡「ISO感度を変更する(p.79)」参照

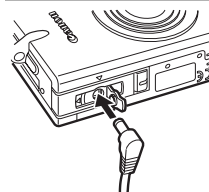
現　象	原　因	対　処
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	・ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から46cm以上離してください。
	被写体が周辺に比べて明るすぎます。	・露出補正値をマイナス側に設定してください。または、スポット測光をお使いください。
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	・被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
	ストロボが常時発光になっています。	・ストロボを発光禁止にしてください。
液晶モニターに赤紫などの色の帯が縦に表示される	被写体が極端に明るすぎます。	・CCD特有の現象で、カメラの故障ではありません。(動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません。)
画像に白い点などが写る	ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。	・デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。
ストロボが発光しない	ストロボが発光禁止になっています。	・ストロボを常時発光にしてください。
テレビに出力できない	お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	・正しいビデオ出力形式(NTSCまたはPAL)に合わせてください(p.47)。日本国内の出力形式は、「NTSC」です。
	スティッチアシストで撮影しています。	・スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください。
ズームの操作ができない	動画撮影中にズームレバーを押しました。	・動画を撮影する前に、ズーム操作をしてください。

現　象	原　因	対　処
CFカードからの画像の読み出しが遅い	違う機器で初期化した CF カードが入っています。	・このカメラで初期化したCFカードをお使いください。 ➡「CFカードを初期化する(p.100)」参照
CFカードへの画像の記録時間が長い		

ACアダプターキット(別売)を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK500(別売)のご利用をおすすめします。

カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 バッテリーカバーを開き、DC カプラーをロックされるまで押し込む

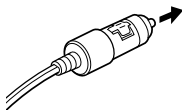
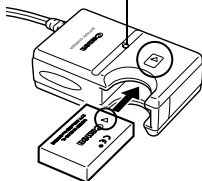
- バッテリーロックを矢印の方向に押しながら押し込みます。
- バッテリーカバーを元の位置に戻します。

3 DCカプラー端子カバーを開き、DC端子を接続する

使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACK500(別売)以外の AC アダプターキットをお使いになると、カメラやACアダプターキットの故障の原因となることがあります。

カーバッテリーチャージャー(別売)を使う

別売のカーバッテリーチャージャー CBC-NB1 をお使いになると、自動車のシガーライターソケットから電源を取って、バッテリーを充電できます。

カーバッテリーチャージャーをお使いになるときは、必ず自動車のエンジンをかけた状態にしてください。エンジンをかけないで使用すると、車種によっては電力を消耗することがあり、バッテリーあがりの原因となります。また、取り外すときも、必ず自動車のエンジンをかけたまま行ってください。

1 自動車のエンジンをかけた状態で、シガープラグを自動車のシガーライターソケットに接続する

2 バッテリーをカーバッテリーチャージャーの奥までしっかりと押し込む

・バッテリーとカーバッテリーチャージャーの矢印を合わせて、正しく入れてください。
・充電中は充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
・充電終了後、カーバッテリーチャージャーをシガーライターソケットから抜き、バッテリーを取り出します。

- エンジンを止めるときは、充電を中止し、シガープラグをシガーライターソケットから抜いてください。
- 充電を再開するときは、エンジンをかけてからシガープラグをシガーライターソケットに差し込んでください。
- このカーバッテリーチャージャーは、マイナス接地車専用です。プラス接地車ではお使いになれません。

海外で使うとき

このデジタルカメラは、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p.47）。

電源について

ACアダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります。（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります。）変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
交換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B. BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

- ACアダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行者用の電子変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので使用しないでください。
- このカメラの保証書は、国内に限り有効です。万一、海外旅行先で故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

カメラのお手入れ

カメラ本体やレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙の「修理サービスご相談窓口」をご参照ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

IXY DIGITAL 500/IXY DIGITAL 450

カメラ部有効画素数	：IXY DIGITAL 500：約500万画素 ：IXY DIGITAL 450：約400万画素
撮像素子	：IXY DIGITAL 500 1/1.8型CCD（総画素数 約530万画素） ：IXY DIGITAL 450 1/1.8型CCD（総画素数 約410万画素）
レンズ	：7.4（W）－22.2（T）mm (35mmフィルム換算 36（W）－108（T）mm) F2.8（W）－F4.9（T）
デジタルズーム	：IXY DIGITAL 500：約 4.1 倍（光学ズームと合わせて最大約12倍のズームが可能） ：IXY DIGITAL 450：約 3.6 倍（光学ズームと合わせて最大約11倍のズームが可能）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー
液晶モニター	：1.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約11.8万画素、視野率100%
AF方式	：TTLオートフォーカス 測距枠：9点（AiAF） / 1点（AF） （1点時の測距枠：中央固定）
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：46cm～∞ マクロ撮影：5～46cm（W）/30～46cm（T）
シャッター	：メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッタースピード	：15～1/2000秒 ・15～1秒は、長秒時撮影のときのみ ・15～1.3秒のスローシャッター時は、ノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価測光 / 中央部重点平均測光 / スポット測光 （スポット測光時の測光枠は中央固定）

（W）：ワイド端　（T）：テレ端

露出制御方式	:プログラムAE
露出補正	:±2段(1/3段ステップ)
感度	:オート / ISO 50 / 100 / 200 / 400相当
ホワイトバランス	:TTLオート/ プリセット(太陽光 / くもり / 電球/ : 蛍光灯 / 蛍光灯H)/ マニュアル
内蔵ストロボ	:オート/ 赤目緩和オート / 常時発光 / 発光禁止 / スローシンクロ
内蔵ストロボ撮影範囲	:通常撮影:46cm〜3.5m(W)/46cm〜2.0m(T) :マクロ撮影:30cm〜46cm(W/T)
撮影モード	:オート / マニュアル / スティッチアシスト / 動画
連続撮影	:高速連続撮影: IXY DIGITAL 500:約2.2画像/秒 IXY DIGITAL 450:約2.5画像/秒 :通常連続撮影:約1.5画像/秒 (ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき)
セルフタイマー	:約10秒 / 約2秒後に撮影
パソコン接続撮影	:USB接続時、付属のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	:コンパクトフラッシュカード(Type1対応)
画像ファイルフォーマット	:DCF準拠*1、DPOF対応
画像記録フォーマット (静止画) (動画)	: JPEG(Exif 2.2) *2 : AVI(画像データ:Motion JPEG / 音声データ:WAVE(モノラル))
圧縮率	:スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数 (静止画)	: IXY DIGITAL 500 ラージ: 2592× 1944画素 ミドル1: 2048× 1536画素 ミドル2: 1600× 1200画素 スモール: 640× 480画素 :IXY DIGITAL 450 ラージ: 2272× 1704画素 ミドル1: 1600× 1200画素 ミドル2: 1024× 768画素 スモール: 640× 480画素

(W):ワイド端 (T):テレ端

記録画素数　（動画）	: IXY DIGITAL 500 640×480画素（約30秒） 320×240画素（約3分） 160×120画素（約3分） : IXY DIGITAL 450 320×240画素（約3分） 160×120画素（約3分） （640:10フレーム/秒、320 160:15フレーム/秒） ( )内は1回の最長記録時間です。
再生モード	: シングル再生（ヒストグラム表示可能） / インデックス再生（サムネイル9画像） / 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能） / スライドショー / 音声メモ（最長約60秒まで記録可能）
ダイレクトプリント	: CPダイレクト / Bubble Jetダイレクト/ PictBridge対応
表示言語	: 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / オランダ語 / デンマーク語 / フィンランド語 / イタリア語 / ノルウェー語 / スウェーデン語 / スペイン語 / 中国語
マイカメラ（カスタマイズ）機能	: 起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音が、以下の方法で設定可能 1.このカメラで記録 2.付属のソフトウェアやオンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」からダウンロード
CANON iMAGE GATEWAY 対応機能	: 付属のソフトウェアを使って、CANON iMAGE GATEWAYの会員登録、画像のアップロード、オンラインアルバムサービス、携帯電話アルバム通知・閲覧サービス、カメラへのマイカメラコンテンツのダウンロード、オンラインプリントサービス、オリジナル写真集作成サービス、ホームプリンティングサービスなどが利用可能
インターフェース	: USB（mini-B、PTP [Picture Transfer Protocol]） 映像 / 音声出力端子（NTSCまたはPAL切換可能、モノラル音声）
電源	: 専用充電式リチウムイオン電池 NB-1LH/NB-1L : ACアダプターキット ACK500 : 専用カーバッテリーチャージャー CBC-NB1

:

動作温度	：0〜40 ℃
動作湿度	：10〜90%
大きさ	：87.0×57.0×27.8mm（突起部を除く）
質量	：約185g （本体のみ）

＊1 DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

＊2 このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

バッテリー性能

バッテリーパック NB-1LH（フル充電）

撮影画像数	液晶モニター表示	約190画像
	液晶モニター非表示	約440画像
再生時間		約140分

＊動画データは除きます。

＊使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23℃）、20秒間隔でワイド端とテレ端撮影を交互に繰り返し、4回に1回ストロボ発光、8回に1回電源を入/切操作、液晶モニターの明るさは工場出荷時の設定

再生：常温（23 ℃）、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生、液晶モニターの明るさは工場出荷時の設定

CFカードの種類と記録可能画像数の目安

■ IXY DIGITAL 500

□ 付属のカード

			FC-32MH	FC-64M	FC-128M	FC-256MH	FC-512MSH
L 2592×1944画素		S	11	24	49	99	198
			21	43	88	177	354
			43	88	176	355	709
M1 2048×1536画素		S	18	38	76	154	308
			33	68	137	276	552
			67	136	274	548	1095
M2 1600×1200画素		S	30	61	122	246	491
			54	109	219	440	879
			108	217	435	868	1734
S 640×480画素		S	120	241	482	962	1891
			196	393	788	1563	3122
			337	676	1355	2720	5203
動画	640 640×480画素		46秒	92秒	186秒	374秒	742秒
	320 320×240画素		91秒	183秒	368秒	735秒	1451秒
	160 160×120画素		242秒	486秒	973秒	1954秒	3902秒

■ IXY DIGITAL 450

□ 付属のカード

		FC-32MH	FC-64M	FC-128M	FC-256MH	FC-512MSH
L 2272×1704画素	S	14	30	61	123	247
	F	27	54	110	222	442
	N	54	110	220	443	879
M1 1600×1200画素	S	30	61	122	246	491
	F	54	109	219	440	879
	N	108	217	435	868	1734
M2 1024×768画素	S	53	107	215	431	855
	F	94	189	379	762	1522
	N	174	349	700	1390	2714
S 640×480画素	S	120	241	482	962	1891
	F	196	393	788	1563	3122
	N	337	676	1355	2720	5203
動画	320 320×240画素	91秒	183秒	368秒	735秒	1451秒
	160 160×120画素	242秒	486秒	973秒	1954秒	3902秒

・動画の1回の最長撮影時間は、640：約30秒、320：約3分*、160：約3分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

＊64MB以上のCFカード使用時。

・L（ラージ）、M1（ミドル1）、M2（ミドル2）、S（スモール）、640、320、160 は記録画素数を表します。
・S（スーパーファイン）、F（ファイン）、N（ノーマル）は圧縮率を表します。

1画像の容量(目安)

■ IXY DIGITAL 500

記録画素数		圧縮率		
		S	◢	▟
L (2592×1944)		2503KB	1395KB	695KB
M1 (2048×1536)		1602KB	893KB	445KB
M2 (1600×1200)		1002KB	558KB	278KB
S (640×480)		249KB	150KB	84KB
動画	640 (640×480)	660KB/秒		
	320 (320×240)	330KB/秒		
	160 (160×120)	120KB/秒		

■ IXY DIGITAL 450

記録画素数		圧縮率		
		S	◢	▟
L (2272×1704)		2002KB	1116KB	556KB
M1 (1600×1200)		1002KB	558KB	278KB
M2 (1024×768)		570KB	320KB	170KB
S (640×480)		249KB	150KB	84KB
動画	320 (320×240)	330KB/秒		
	160 (160×120)	120KB/秒		

コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	：Type1対応
大きさ	：36.4×42.8×3.3mm
質量	：約10g

バッテリーパック NB-1LH

形式	：充電式リチウムイオン電池
公称電圧	：DC 3.7V
公称容量	：840mAh
充放電	：約300回
動作温度	：0〜40℃
大きさ	：32.3×49.8×10.6mm
質量	：約29g

バッテリーチャージャー CB-2LS

定格入力	：AC100〜240V（50/60Hz） 7.5VA（100V）〜 10.5VA（240V）
定格出力	：DC 4.2V/0.5A
充電時間	：約130分*
動作温度	：0〜40℃
大きさ	：90.4×56.0×28.0mm
質量	：約78g

* バッテリーパック NB-1LHの充電時間

コンパクトパワーアダプター CA-PS500

（別売のACアダプターキットACK500に付属）

定格入力	：AC100〜240V（50/60Hz） 16VA（100V）〜26VA（240V）
定格出力	：DC 4.3V/1.5A
使用温度	：0〜40℃
大きさ	：42.6×104.4×31.4mm
質量	：約180g

カーバッテリーチャージャー　CBC-NB1（別売）

定格入力	: DC12〜24V　4.3W
定格出力	: DC 4.2V/0.55A
充電時間	: 約130分*
使用温度	: 0〜40℃
大きさ	: 90.4×56.0×28.0mm
質量	: 約106g

* バッテリーパック NB-1LHの充電時間

セルフタイマーの活用法

➡p.61

シャッターボタンを押した瞬間にカメラが動いてしまう可能性があります。このとき、セルフタイマーを [2秒セルフタイマーアイコン] に設定すると、2 秒後に撮影されるので、カメラのブレを防ぐことができます。また、カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用すると、よりきれいな画像を撮影できます。

露出補正のしかた

➡p.72

このカメラは、適切な明るさで撮影できるよう、自動で露出を補正しています。しかし、撮影状況によっては、実際よりも明るく写ったり、暗く写ってしまうことがあります。このようなときは、手動で露出を補正してください。

	露出不足(アンダー) 全体が黒っぽく写ります。そのため、白いものはグレーのように写ります。 白っぽい被写体や逆光で撮影すると、露出アンダーになることがあります。+側に補正してください。
	適切な露出
	露出過多(オーバー) 全体が白っぽく写ります。そのため、黒いものはグレーのように写ります。 黒っぽい被写体や暗い場所で撮影すると、露出オーバーになることがあります。−側に補正してください。

ISO感度について ➡p.79

ISO感度とは、光を感じる能力を数値化したものです。数値が高いほど感度が高くなります。ISO感度が高いと、暗い室内や屋外でストロボを使わずに撮影でき、また手ブレしにくくなります。たとえば、ストロボ撮影禁止の場所で撮影するときに便利です。その場の光を活かした雰囲気のある仕上がりになります。

ISO50 相当

ISO400 相当

マクロ機能の一歩進んだ使いかた ➡p.57

マクロ機能は、レンズのズーム機能と合わせて使うと、より特徴のある画面作りが可能になります。たとえば花を撮るとき、ズームを広角側にすると花の背景までピントのあった画像が撮影できますし、望遠側にすると花の背景を効果的にぼかすことができます。

広角側でマクロ撮影

望遠側でマクロ撮影

記号/アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、キヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

下記の表を参考に、撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。各撮影モードで設定した内容は、撮影後も設定が保持されます。

機能			オート	マニュアル	スティッチアシスト	動画	参照ページ
記録画素数	ラージ	L	○*	○*	△*	−	p.52
	ミドル1	M1	○	○	△	−	
	ミドル2	M2	○	○	△	−	
	スモール	S	○	○	△	−	
	動画	640 (1)	−	−	−	○	
	動画	320	−	−	−	○*	
	動画	160	−	−	−	○	
圧縮率	スーパーファイン		○	○	△	−	p.52
	ファイン		○*	○*	△*	−	
	ノーマル		○	○	△	−	
ストロボ	オート		○	○	−	−	p.55
	赤目緩和オート		○*	○*	−	−	
	常時発光		−	○	△	−	
	発光禁止		○	○	△*	−	
	スローシンクロ		−	○	△	−	
クイック撮影			○	○	−	−	p.54
マクロ撮影			○	○	△	○	p.57
遠景撮影			−	○	△	○	
AFロック		AFL	−	○	−	−	p.67
AEロック		AEL	−	○	−	−	p.69
FEロック		FEL	−	○	−	−	p.70
撮影方法	シングル撮影		○*	○*	△*	○*	−
	通常連続撮影		−	○	−	−	p.59
	高速連続撮影		−	○	−	−	
	10秒セルフタイマー		○	○	△	○	p.61
	2秒セルフタイマー		○	○	△	○	
AF方式の選択			−	○	−	−	p.71
AF補助光			○	○	△	○	p.44

機能		オート	マニュアル	スティッチアシスト	動画	参照ページ
デジタルズーム		○	○	−	−	p.58
露出補正		−	○	△	○	p.72
測光方式	評価測光	−	○*	−	−	p.72
	中央部重点平均測光	−	○	−	−	
	スポット測光	−	○	−	−	
長秒時撮影		−	○	−	−	p.73
ホワイトバランス		−	○	△	○	p.75
色効果		−	○	△	○	p.78
ISO感度		−(2)	○	−(2)	−(2)	p.79
縦横自動回転		○	○	△	−	p.80

＊:初期設定　○:設定可　△:最初の1画像のみ設定可

- （網掛け）:電源を切っても解除されません。
- [日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます(p.49)。

(1)IXY DIGITAL 450の場合、640はありません。
(2)カメラが自動的に設定します。